NEC

パソコンだから一歩進んだテレビの楽しみ方を

LaVie

●マニュアルガイド●

このパソコンには、次のマニュアルが添付されています。
目的に合わせてご覧ください。

パソコンを使う準備をしよう

『パソコンの準備と基本』

パソコンの接続やセットアップ／セキュリティ／お客様登録／インターネットに接続する方法／基本機能／パソコンのおすすめ機能　など

パソコンを安心して使うために

『トラブルの予防と解決』

バックアップの種類と方法／インターネットのトラブル解決／パソコンの電源が入らないときは／ウイルスに感染してしまったら／再セットアップ方法／ NECのサービス＆サポート　など

パソコンでテレビを見てみよう

『テレビを楽しむ本』

（内蔵テレビモデルのみ）

パソコンでテレビを見る方法／番組の録画方法／録画番組をDVDなどへ保存する方法　など

デスクトップにある
をダブルクリック

パソコンの中にもマニュアルがある

「ソフト&サポートナビゲーター」

使いたいソフトを探して、起動する／機器の取り付け方法や操作、セキュリティの設定／うまくいかないとき、故障かなと思ったとき／各部の機能や名称などの情報／用語集など

853-811064-012-A

このマニュアルの表記について

◆本文中の記載について

・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

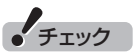
◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

	人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
	そのページで大事なことや、操作のヒントが書かれています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーやリモコンのボタンを指します。
DVD/CDドライブ	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、およびDVDスーパーマルチドライブを指します。
「ソフト&サポートナビゲーター」	画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ソフト&サポートナビゲーター」は、タスクバーの (ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリックして起動します。

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

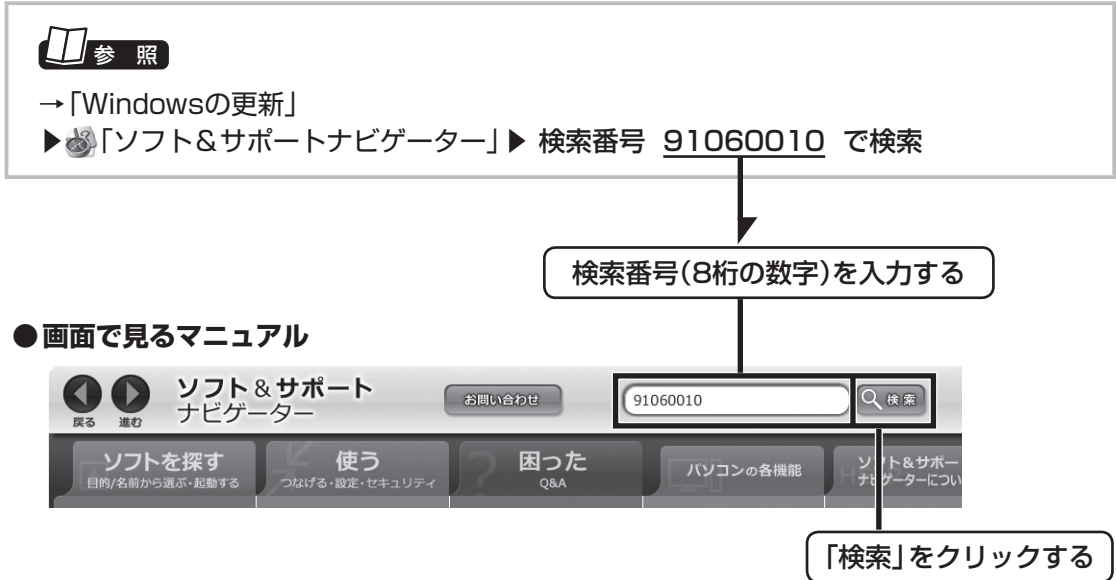
ご購入された製品のマニュアルで表記されているモデル名を確認してください。

ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)を搭載しているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-R/+R 2層書込み))を搭載しているモデルのことです。

853-811064-012-A　2010年6月 初版

◆番号検索について

このマニュアルに出てくる検索番号（8桁の数字）を画面で見るマニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

例）検索番号が「91060010」の場合

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows 7	Windows® 7 Starter Windows® 7 Home Premium Windows® 7 Professional
Windows Media Center	Windows® Media Center
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
Corel WinDVD	Corel® WinDVD®
Corel WinDVD AVC	Corel® WinDVD® AVC
Corel WinDVD BD	Corel® WinDVD® BD
ウイルスバスター	ウイルスバスター™ 2010

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 EnterpriseまたはWindows® 7 Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
(10) この製品は、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しています。
(11) 本商品は録画のときに暗号化技術を使っているため、故障内容によっては、修理しても録画した番組が再生できなくなる場合があります。

Microsoft、Windows、Aero、Internet Explorer、Office ロゴ、Excel、Outlook、DirectX、MSN、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationおよび/またはその関連会社です。
インテル、Intel、Intel Core、Celeronはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
Corel、WinDVDはCorel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。
TRENDMICRO及びウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
SDおよびminiSDロゴ、および SDXC ロゴは商標です。
miniSD™およびmicroSD™はSDアソシエーションの商標です。
"MagicGate Memory Stick"("マジックゲートメモリースティック")および"Memory Stick"("メモリースティック")、MEMORY STICK、、、MEMORY STICK PRO、MEMORY STICK DUO、"MagicGate"("マジックゲート")、MAGICGATE、OpenMGはソニー株式会社の商標です。
xD-Picture Card、「xD-ピクチャーカードTM」は富士フイルム株式会社の商標です。
ExpressCardならびにそのロゴはPCMCIA(Personal Computer Memory Card International Association)の商標です。
Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、NECはライセンスに基づきこのマークを使用しています。
"Blu-ray Disc"は、商標です。
その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められております。

目 次 CONTENTS

テレビを見るための準備

テレビを見る前に、パソコンのセットアップやインターネットとの接続、
また、アンテナケーブルの接続やテレビ初期設定が必要です。

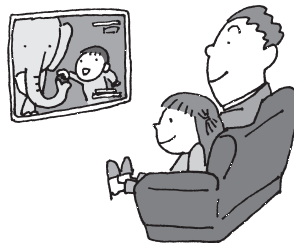
PART 1
テレビを見るための準備

こんな準備が必要です

テレビを見る前に、パソコンのセットアップとインターネットとの接続、アンテナケーブルやminiB-CASカードの準備が必要です。

このパソコンで楽しめるテレビ放送

このパソコンでは、地上デジタル放送が楽しめます。

●地上デジタル放送
2003年12月から始まったテレビ放送です。デジタル放送になっているため、アナログ放送に比べて高画質、高音質です。また、データ放送などの新しいサービスが受けられるのも特長です。

パソコンの準備とインターネットの設定は済んでいますか？

テレビを見るためには、まずパソコンを使う準備（ケーブル類の接続、セットアップ作業）を済ませておく必要があります。また、このパソコンのテレビ機能を使うためにはインターネットへの接続が必要です。『準備と基本』をご覧になり、パソコンの準備とインターネットに接続するための設定を済ませておいてください。

パソコンとインターネットの準備が完了したら、次にテレビを見るための準備をおこないます。

チェック

●CATV（ケーブルテレビ）から地上デジタル放送を受信できるかどうかは、各CATV会社により異なります。

●CATV会社経由で地上デジタル放送を受信する場合、再配信されている地上デジタル放送信号が同一パススルー方式、周波数変換パススルー方式の場合は地上デジタル放送を視聴可能です。その他の方式(トランスモジュレーションなど)では視聴できません。再配信されている地上デジタル放送の方式に関しては、ご利用のCATV会社にご確認ください。

●CATV番組の放送局については、各CATV会社より届けられているCATV番組表などをご覧ください。

テレビを見るまでの流れ

このパソコンでテレビを見るまでの流れは次のとおりです。

1 パソコンを使う準備をする

パソコンの接続をする

Windowsのセットアップをする

インターネットに接続する

リモコンの準備をする

テレビを見る前に、まずはパソコンを使えるようにします。『準備と基本』を読んで、パソコンの接続とセットアップをしてください。続けて、パソコンをインターネットに接続するための設定とリモコンの準備をおこないます。

●見るマニュアル
『準備と基本』

●必要な準備
・パソコンの接続
・Windowsのセットアップ
・インターネットの設定
・リモコンの準備

『準備と基本』

2 miniB-CASカード・アンテナの準備とテレビの初期設定をする

miniB-CAS(ミニビーキャス)カード、アンテナケーブルの準備をする

Windows Media Center (ウィンドウズ メディア センター)のセットアップをする

テレビの初期設定(チャンネルなどの設定)をする

●見るマニュアル
『テレビを楽しむ本』(この本)

●必要な準備
・miniB-CASカードのセット(p.10)
・アンテナケーブルの接続(p.12)
・Windows Media Centerのセットアップ(p.14)
・テレビの初期設定(p.15)

miniB-CASカードのセットとアンテナケーブルの接続をおこないます。続けて、テレビを見るためのソフト、「Windows Media Center」の準備をします。
このマニュアルで設定方法を説明しています。次のページからの内容をよく読んで、テレビの初期設定をしてください。

準備完了
さぁ、テレビを楽しみましょう!

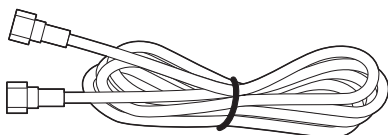
テレビの準備をする前に

ここでは、パソコンをテレビのアンテナに接続するためのケーブルや機器類、テレビを受信するための環境、および、ご自宅の受信環境に合わせたアンテナへの接続方法など、テレビを見る前に知っておいていただきたいことについて説明しています。
ここでの説明をお読みいただいてから、「miniB-CASカードをセットする」(p.10)および「アンテナケーブルを接続する」(p.12)に進んでください。

■テレビを見るために用意していただくもの

次のものは本機に添付されておりません。必要に応じて市販のものを用意してください。

●必ず用意していただくもの

・F型コネクタ付きアンテナケーブル

F型コネクタには、ネジタイプのものと差し込みタイプのものがあります。

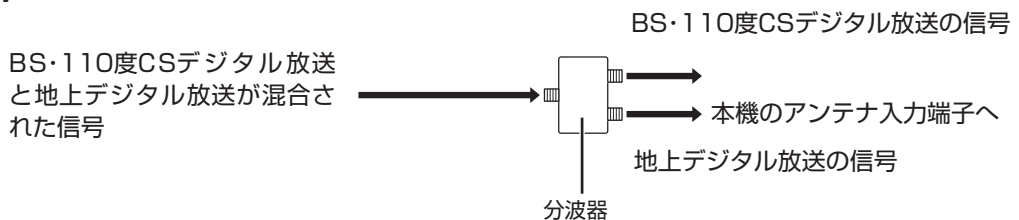
ネジタイプ　　差し込みタイプ

・プラスドライバー
本体底面のカバーを取り外すときに使います。ドライバーの代わりに10円硬貨などのコインを使うこともできます。

●必要に応じて用意していただくもの

ここでは代表的なものについてご紹介します。受信環境によって使用するものが異なります。ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

・分波器
複数の信号がまとめて送られている信号線(アンテナ線)から、それぞれの信号を分けて出力する機器です。地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が、壁側のひとつのアンテナ端子にまとめて供給されているとき、必要になります。まとめて供給されている場合、本機へ接続するときには分波器を使って地上デジタル放送(UHF)とBS・110度CSデジタル放送に分けて、地上デジタル放送の信号を本機に接続してください。

例

・分配器
1つの受信電波を複数のテレビ(またはテレビを搭載したパソコンなど)に分配する機器です。
・ブースター
受信した電波が弱いとき、増幅する機器です。
・アッテネーター
受信した電波が強すぎるとき、減衰する機器です。

■テレビを受信するためには

地上デジタル放送を受信するためには

地上デジタル放送はUHFで放送されています。視聴するためには次のことを確認してください。

アンテナの設置や状態など、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

TVをケーブルTVで見ていますか？

- 見ている → ▶「ケーブルテレビをご利用の場合」(p.8)
- 見ていない ↓

すでにTVなどで地上デジタル放送を見ていますか？

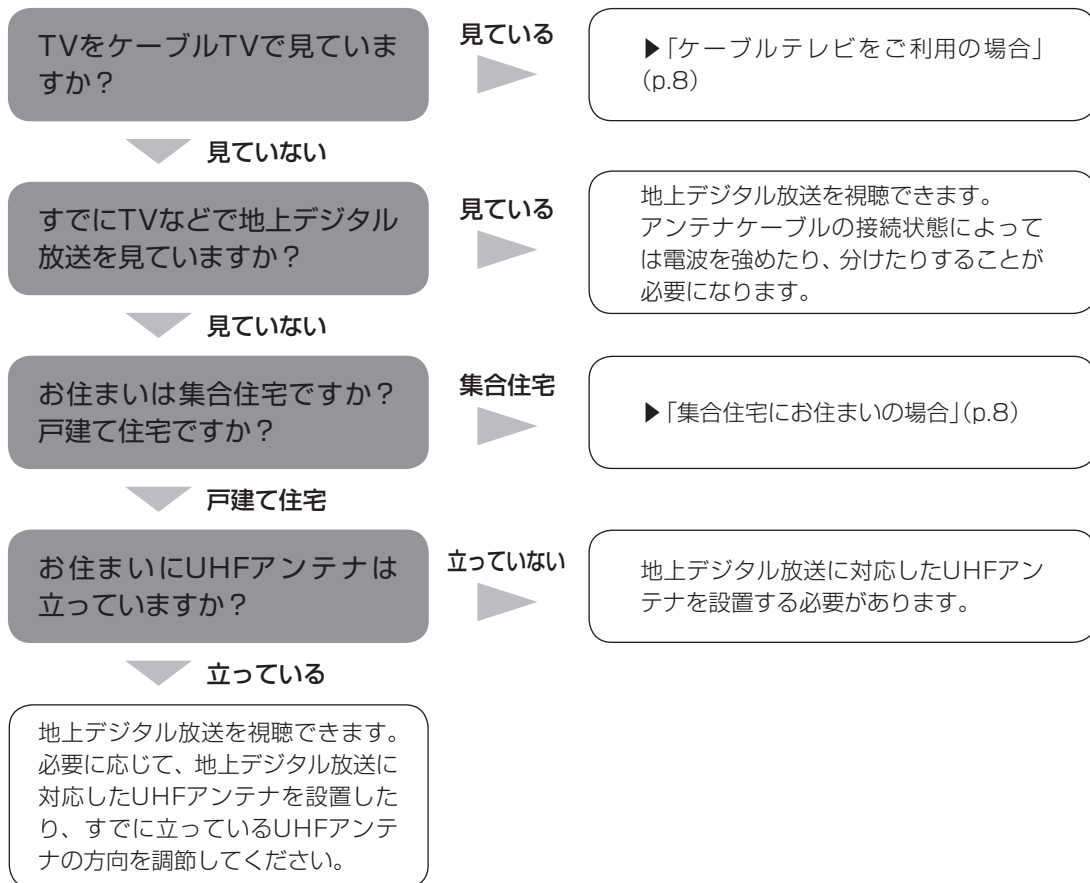
- 見ている → 地上デジタル放送を視聴できます。アンテナケーブルの接続状態によっては電波を強めたり、分けたりすることが必要になります。
- 見ていない ↓

お住まいは集合住宅ですか？戸建て住宅ですか？

- 集合住宅 → ▶「集合住宅にお住まいの場合」(p.8)
- 戸建て住宅 ↓

お住まいにUHFアンテナは立っていますか？

- 立っていない → 地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを設置する必要があります。
- 立っている ↓

地上デジタル放送を視聴できます。必要に応じて、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを設置したり、すでに立っているUHFアンテナの方向を調節してください。

視聴できない放送について

地上アナログ放送を視聴することはできません。
BS・110度CSデジタル放送を視聴することはできません。

■アンテナケーブルの接続前に確認すること

地上デジタル放送の信号の供給方法によって、アンテナの接続方法は異なります。
接続する前に、ご自宅のアンテナの接続状態を確認してください。

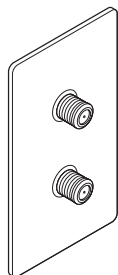
チェック

- ここでは一般的な接続例について説明しています。テレビのご利用環境によって、ご用意いただくもの(ケーブル、分波器、分配器など)が異なります。
- 集合住宅にお住まいのかたやケーブルテレビをご利用のかたは必要に応じて、「その他のご注意」(p.8)もあわせてご覧ください。
- 使用するケーブルなど、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

■ご家庭のアンテナ端子について

一般的なご家庭では、屋外のアンテナからの信号線やケーブルテレビの信号線が、屋内の壁に取り付けられたアンテナ端子に接続されています。
信号線の接続方法によって、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が、個別のアンテナ端子に供給されている場合と、ひとつのアンテナ端子にまとめて供給されている場合があります。

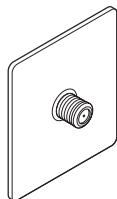
壁側のアンテナ端子が2つの場合

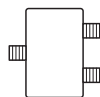
BS・110度CSデジタル放送のアンテナ端子
および地上デジタル放送のアンテナ端子

※建物によってはこれ以外の形のアンテナ端子が設置されていることもあります。

接続に使うもの

F型コネクタ付きアンテナケーブル

壁側のアンテナ端子が1つの場合

BS･110度CSデジタル放送と地上
デジタル放送が混合されたアンテナ端子

接続に使うもの

F型コネクタ付きアンテナケーブル

分波器

※壁側のアンテナ端子に地上デジタル放送の信号だけが供給されている場合は、分波器は必要ありません。

壁側のアンテナ端子を確認したら、「miniB-CASカードをセットする」(p.10)に進んでください。

- ●アンテナ端子の状況など、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。
- ●アンテナ端子が1つの場合、地上デジタル放送の信号だけ供給されていたり、BS･110度CSデジタル放送の信号だけ供給されている場合があります。ご家庭のアンテナ端子がどの放送波に対応しているかをご確認の上、接続をおこなってください。

■その他のご注意

集合住宅にお住まいの場合

マンションなどの集合住宅にお住まいの場合は、次の点にご注意ください。

- ・地上デジタル放送を受信できるかどうか、管理組合や管理会社にご確認ください。
- ・共聴受信の場合は、「ご家庭のアンテナ端子について」(p.7)の「壁側のアンテナ端子が1つの場合」の説明に従って接続してください。なお、お住まいの集合住宅の受信形態によってはテレビが受信できない場合があります。詳しくは、集合住宅の管理者かお近くの電器店にご相談ください。

ケーブルテレビをご利用の場合

ケーブルテレビをご利用の場合は、次の点にご注意ください。

- ・ケーブルテレビ事業者が次のいずれかで地上デジタル放送を再配信しているときは、地上デジタル放送を視聴することができます。
  - ・同一周波数パススルー方式
  - ・周波数変換パススルー方式

  これら以外の方式の場合は、地上デジタル放送が視聴できません。お近くの電器店などにご相談ください。
- ・ケーブルテレビ事業者により、視聴制限(スクランブル)を設定されたチャンネルは受信できません。

・ケーブルテレビで受信可能な放送については、ケーブルテレビ局にお問い合わせください。
・ケーブルテレビ用端末機器(セットトップボックスやホームターミナルなど)をお持ちの場合は、端末機器の端子※とこのパソコンの地上デジタルアンテナ端子を接続してください。
※端末機器によって、「分配出力」、「CATV(下り)」、「UHF出力」などの名称になっています。端末機器に添付されているマニュアルをご覧ください。
・アンテナ線や受信環境について詳しくは、ケーブルテレビ局、またはお近くの電器店にご相談ください。

「miniB-CASカードをセットする」(次のページ)に進んでください。

miniB-CASカードをセットする

ここではminiB-CASカードの取り付け方について説明します。説明文とイラストをよくご覧いただき、記載された手順にしたがってminiB-CASカードを取り付けてください。
記載された手順以外の操作をおこなうと、miniB-CASカードやそれをセットするminiB-CASカードスロットが破損することがあります。ご注意ください。

●miniB-CASカードや、それをセットするminiB-CASカードスロットは、とても精密な部品です。取り扱いには十分ご注意ください。

●miniB-CASカードを確認したり、交換したりするときなど、miniB-CASカードを取り出す必要があるときは、この手順を参考にしてください。その際、miniB-CASカードを紛失しないようにご注意ください。

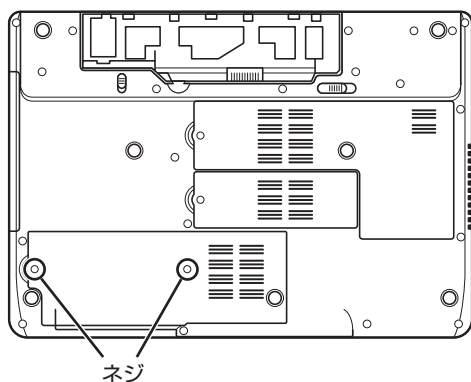
1 パソコンの電源を切り、ACアダプタとバッテリパックを取り外す

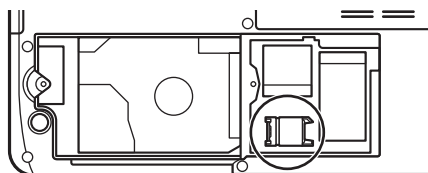
参照

バッテリパックの取り外しについて→『準備と基本』第4章の「バッテリ」

2 液晶ディスプレイを閉じて、パソコンを裏返す

3 本体底面のネジ2本を取り外し、カバーを外す

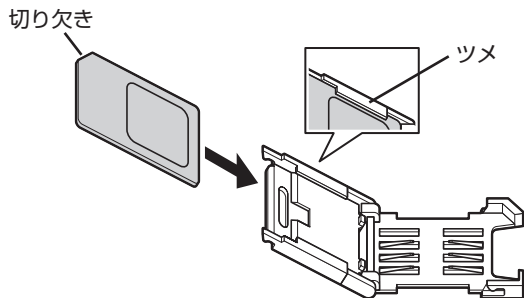
取り外したネジを紛失しないようにご注意ください。

4 miniB-CASカードスロットの位置を確認する

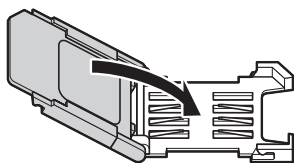
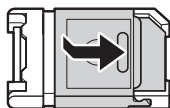
miniB-CASカードスロット以外の場所には触れないように注意してください。

5 miniB-CASカードスロットのカバーを矢印の方向にスライドさせる

miniB-CASカードスロットのカバーの先端は、台座部分にロックされた状態になっています。スライドさせずにカバーを引き上げると破損の原因となります。

6 miniB-CASカードスロットのカバーを開く

miniB-CASカードスロットはとても精密な部品です。カバーをひねったり、無理な力を加えたりすると、破損の原因となります。

7 miniB-CASカードスロットをセットする

切り欠きの位置に注意して、ツメの内側にカードが入るようにセットしてください。

8 miniB-CASカードスロットのカバーを閉じる

9 miniB-CASカードスロットのカバー上面を軽く押しながら、矢印の方向に固定されるまでスライドさせる

固定されると、miniB-CASカードスロットのカバーが浮き上がらなくなります。

10 手順3で外した本体底面のカバーを取り付け、2本のネジで固定する

11 パソコンの向きを戻す

続けて「アンテナケーブルを接続する」に進みます。ACアダプタとバッテリパックは、アンテナケーブルを接続するまで取り付けないでください。

チェック

- miniB-CASカードスロットの台座部分にある金属の端子に触れないでください。触れると破損や接触不良の原因となります。
- miniB-CASカードは、手順7の図をよくご覧いただき、必ずカバー部分に正しくセットしてください。台座部分に置いてカバーを閉じると破損の原因となります。

チェック

miniB-CASカードスロットのカバーを閉じたとき、カバーの先端が、台座部分に乗った状態になっていないことを確認してください。カバーの先端が台座部分に乗った状態で力を加えると破損の原因となります。

チェック

- 強い力を加えないでください。miniB-CASカードやminiB-CASカードスロットが破損することがあります。
- カバーを閉じるとき、異物を挟まないようにご注意ください。

チェック

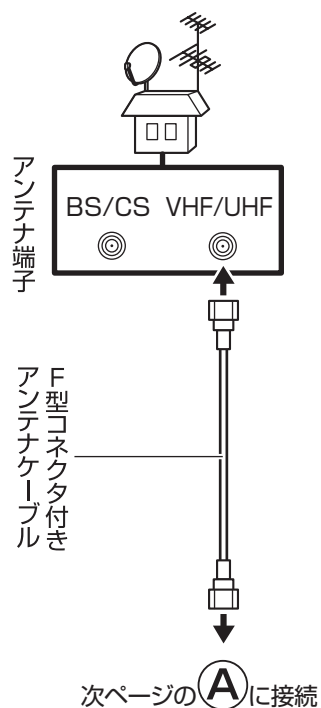
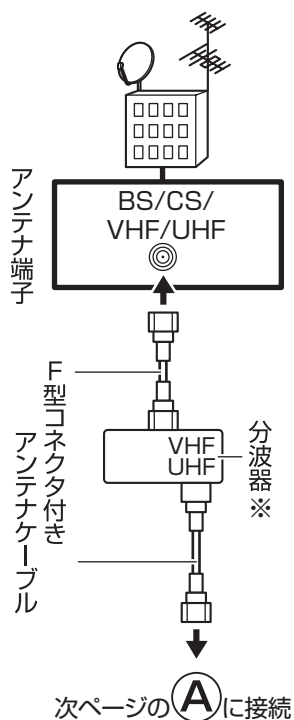
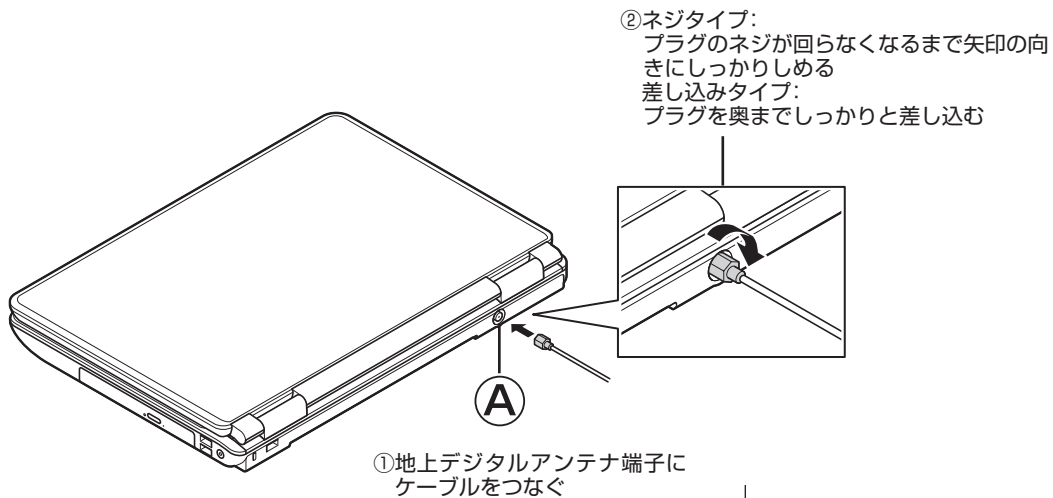
miniB-CASカードスロットのカバーが固定されていることを確認してから、本体底面のカバーを取り付けてください。miniB-CASカードスロットのカバーが開いた状態で本体底面のカバーを取り付けると、破損の原因となります。

アンテナケーブルを接続する

ここでは、アンテナケーブルを接続する手順について説明します。あらかじめ、「テレビの準備をする前に」(p.4)をお読みいただき、接続に使用するケーブルや機器類、テレビを受信するための環境、および、ご自宅の受信環境に合わせたアンテナの接続方法を確認してください。

■アンテナケーブルを接続するときのご注意

・ネジタイプの場合、プラグのネジは、まわらなくなるまでしっかりしめてください。
・アンテナケーブルを接続するときや取り外すときは、パソコンの電源が入っていないことを確認してから作業をおこなってください。
・壁側のアンテナ端子がひとつで、BS/CS/VHF/UHFの放送波が混合されている場合、次の「壁側のアンテナ端子が1つの場合」を参照し、必ず分波器を接続してください。分波器を接続しないと、テレビの映像が乱れることがあります。

●壁側のアンテナ端子が2つの場合

●壁側のアンテナ端子が1つの場合

※壁側のアンテナ端子に地上デジタル放送の信号だけが供給されている場合は不要です。

アンテナケーブルを接続したら、バッテリを取り付け、ACアダプタを接続してください。

参照

バッテリの取り付け、ACアダプタの接続→『準備と基本』の「第1章 セットアップの前に」

パソコンを移動するときは、必ずアンテナケーブルを外してください。アンテナケーブルを接続したまま移動すると、地上デジタルアンテナ端子に強い力がかかり、故障の原因になることがあります。

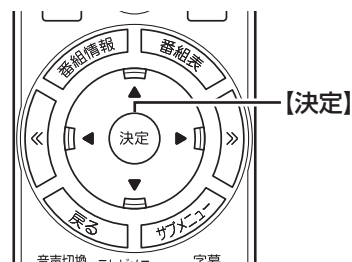
Windows Media Centerをセットアップする

このパソコンでテレビを見るには「Media Center テレビ」を使います。
Media Center テレビは「Windows Media Center」というソフトから起動します。Windows Media Centerをはじめて使うときは、セットアップが必要です。

操作の前にパソコンを起動し、次のことを確認しておいてください。
・パソコンがインターネットに接続されている
・パソコンの時計が正しい時刻にセットされている

1 リモコンの【Media Center】を押す

セットアップの画面が表示されます。

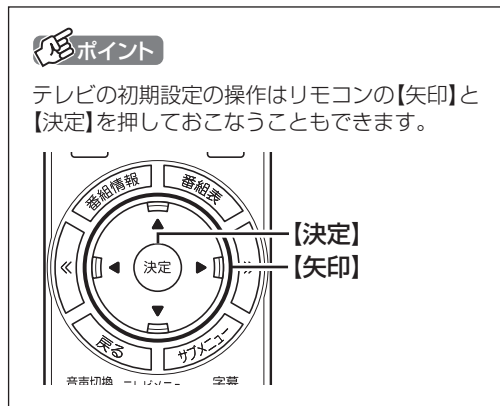
2 「Windows Media Centerへようこそ」と表示されていることを確認し、【決定】を押す

3 「推奨設定」が表示されていることを確認して、【決定】を押す

次の画面（Windows Media Centerのメインメニュー）が表示されたら、セットアップは完了です。続けて、テレビの初期設定をします。

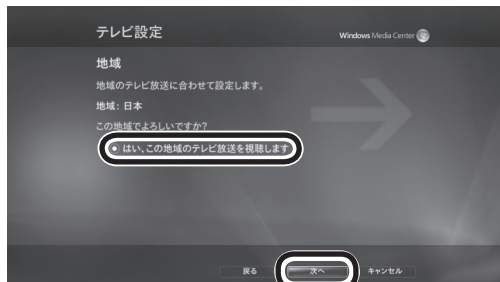
テレビの初期設定をする

テレビの初期設定の操作は、マウスとキーボードを使っておこないます。

ポイント

テレビの初期設定の操作はリモコンの【矢印】と【決定】を押しておこなうこともできます。

1 Windows Media Centerの、「Media Center テレビ」-「テレビの初期設定」をクリック

「テレビ設定」の「地域」が表示されます。

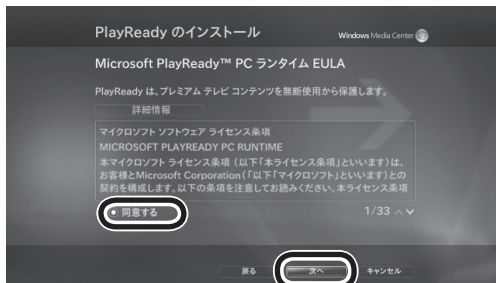
2 「はい、この地域のテレビ放送を視聴します」をクリックして、「次へ」をクリック

「郵便番号」が表示されます。

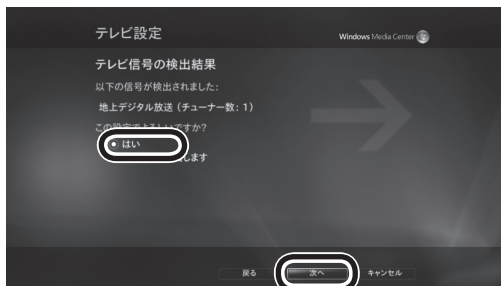
3 キーボードで郵便番号を入力し、「次へ」をクリック

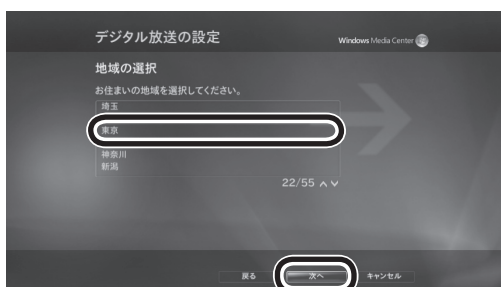
「テレビ番組ガイドのサービス条件」が表示されます。

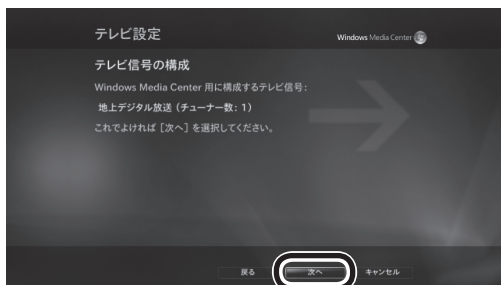
4 サービス条件を確認して「同意する」をクリックし、「次へ」をクリック

「Microsoft PlayReady™ PC ランタイム EULA」が表示されます。

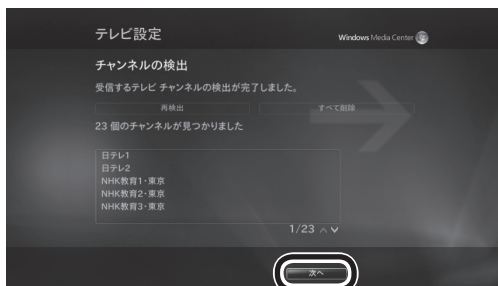
5 ライセンス条項を確認して「同意する」をクリックし、「次へ」をクリック

テレビに関する情報のダウンロードとテレビ信号の検出がはじまります。終了すると、「テレビ信号の検出結果」が表示されます。

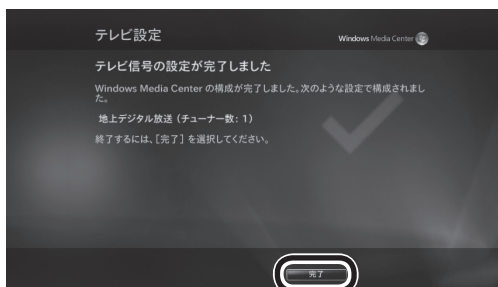
6 「はい」をクリックし、「次へ」をクリック

「地域の選択」が表示されます。

7 お住まいの地域をクリックし、「次へ」をクリック

「テレビ信号の構成」が表示されます。

8 「次へ」をクリック

チャンネルの検出が始まります。
PlayReadyの更新とチャンネルの検出が始まります。終了すると、「受信するテレビチャンネルの検出が完了しました。」と表示されます。

チャンネルが正しく検出されないときは、PART5の「テレビが映らない」(p.60)をご覧ください。

9 検出されたチャンネルを確認し、「次へ」をクリック

「テレビ信号の設定が完了しました」が表示されます。

10 「完了」をクリック

これでテレビの初期設定は完了です。

11 画面右上の クリック

Windows Media Centerが終了します。

ポイント

テレビの初期設定をやり直すときは、付録の「テレビの初期設定をやり直す」(p.71)をご覧ください。

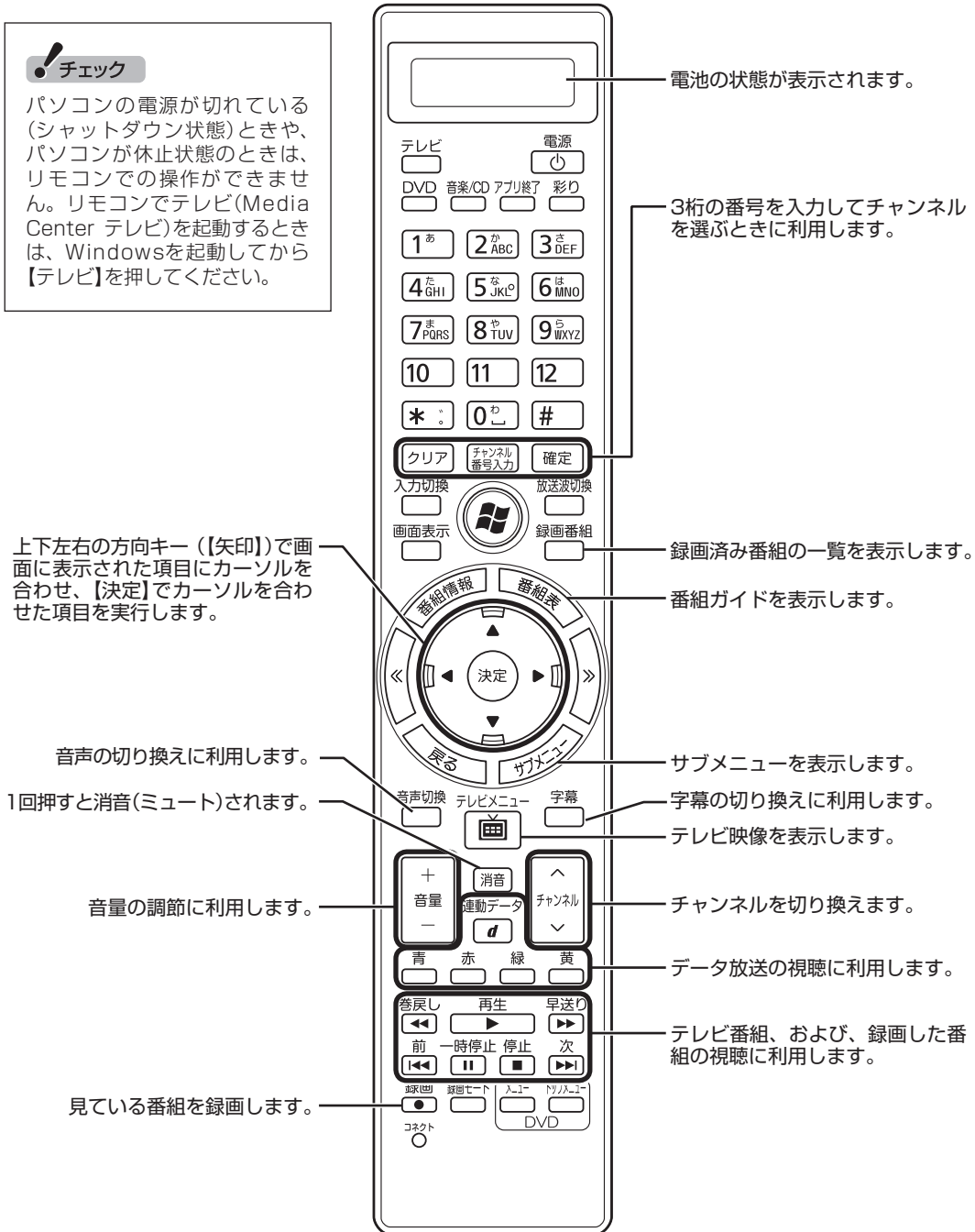
リモコンのボタンについて

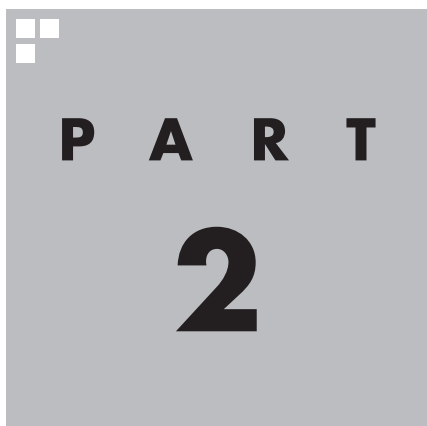
■ 基本的な操作

【矢印】と【決定】で、テレビ(Media Center テレビ)の基本的な機能を使うことができます。

チェック

パソコンの電源が切れている(シャットダウン状態)ときや、パソコンが休止状態のときは、リモコンでの操作ができません。リモコンでテレビ(Media Center テレビ)を起動するときは、Windowsを起動してから【テレビ】を押してください。

テレビを見るための準備

■ 基本的な操作

ここでは、テレビ(Media Center テレビ)を操作するために使うボタンについて説明しています。
テレビ以外のソフトで使うボタンについては、『準備と基本』をご覧ください。

ボタン	機能※1
【テレビ】	テレビをつける。(p.21)
【電源】	パソコンを起動する。
【アプリ終了】	テレビを消す(ソフトを終了する)。(p.24)
【彩り】	彩り機能を切り換える。(p.23)
【1】~【9】、【0】	チャンネル(p.22)を切り換える。また、数字や文字を入力する。
【クリア】、【チャンネル番号入力】、【確定】	3桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを切り換える。※2
【録画番組】	録画済みの番組一覧を表示する。
【番組表】	番組ガイドを表示する。
【番組情報】	ー(使用しません)
【画面表示】	ー(使用しません)
【放送波切換】	ー(使用しません)
【Media Center】	Windows Media Centerを起動する。(p.21)
【矢印】	上下左右の方向キー。項目を選ぶ。
【決定】	選択した項目を決定する。
【≪】、【≫】	ー(使用しません)
【戻る】	テレビや再生中の録画番組の映像に戻る(p.32)。ひとつ前の画面に戻る。
【サブメニュー】	サブメニューを表示する。
【音声切換】	音声の切り換えメニューを表示する。
【テレビメニュー】	テレビをつける。(p.21)
【字幕】	字幕の表示/非表示を切り換える。(p.23)
【音量】	音量を調節する。(p.23)
【消音】	消音(ミュート)する。(p.23)
【連動データ】(【d】)	データ放送の表示/非表示を切り換える。(p.27)
【チャンネル】	チャンネルを切り換える。(p.22)
【青】、【赤】、【緑】、【黄】	データ放送に表示される各色のボタンと対応した機能を使う。
【巻戻し】	巻き戻しする(押すごとにスピードが3段階で速くなる)。(p.44)
【再生】	再生する。(p.44)
【早送り】	早送りする(押すごとにスピードが3段階で速くなる)。(p.44)
【前】	約7秒前の映像を再生する。(p.44)
【一時停止】	一時停止する。(p.44)
【停止】	再生を停止する。(p.44)
【次】	約30秒後の映像を再生する。(p.44)
【録画】	見ている番組を録画する。(p.36)
【録画モード】	ー(使用しません)

※1: テレビ(Media Center テレビ)以外のソフトでは、ボタンに割り当てられた機能が異なる場合があります。
※2: 【チャンネル番号入力】を押し、数字ボタン(【1】~【9】、【0】)を押して3桁のチャンネル番号を入力し、【確定】を押します(チャンネル番号の入力を中止するときは【クリア】を押します)。

パソコンの電源が切れている(シャットダウン状態)ときや、パソコンが休止状態のときは、リモコンでの操作ができません。リモコンでテレビ(Media Center テレビ)を起動するときは、Windowsを起動してから【テレビ】を押してください。

テレビを見る

さっそく、パソコンでテレビを見てみましょう。
見るだけでなく、番組ガイドやタイムシフト機能など、パソコンならではの充実した機能が楽しめます。

※パソコンの電源を入れた直後は、Windowsの各種設定や環境チェックのためにソフトの動作が遅くなる場合があります。そのため、Windows起動後、すぐにテレビを起動したときは、映像が乱れることがあります。
※テレビを快適に視聴するために、必要でないソフトはすべて終了することをおすすめします。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

⚠ 注意

- **映像をご覧になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。**
- **テレビを起動する前に、音量を確認し、調節してください。**

PART 2
テレビを見る

テレビを見るときは

テレビを見る前に、知っておいていただきたいことを説明します。

テレビを見るときの注意

このパソコンでテレビを見るときは、次のことに注意してください。

●パソコンのテレビ機能を使うためには、インターネットを使ってライセンスの認証をおこなう必要があります。テレビ番組を見たり録画するときは、必ずパソコンをインターネットに接続しておいてください。

●このパソコンでは、テレビ番組をハードディスクに一時的に録画しながら映像を表示するタイムシフト機能を使っており、番組を録画するときだけでなく、視聴するときもハードディスクを使用しています。ハードディスクの書き込みを効率的にするために、定期的にディスクデフラグを実行してください。ディスクデフラグツールは、「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「ディスクデフラグツール」で起動できます。

●システムの状態によっては画面が乱れることがあります。

●このパソコンのテレビ機能を使うときは、画面の解像度や色の設定をご購入時の状態から変更しないでください。

ディスクデフラグには時間が掛かります。十分な時間がとれるときに実行してください。

PART 2 テレビを見る

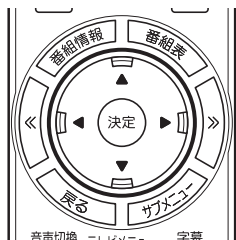
基本的な使い方

ここでは、テレビを見るための基本操作を説明します。

テレビをつける(Media Center テレビを起動する)

1 リモコンの【Media Center】を押す

Windows Media Centerが起動します。

2 「Media Center テレビ」-「テレビを見る」を選んで【決定】を押す

テレビの映像が表示されます。

ポイント

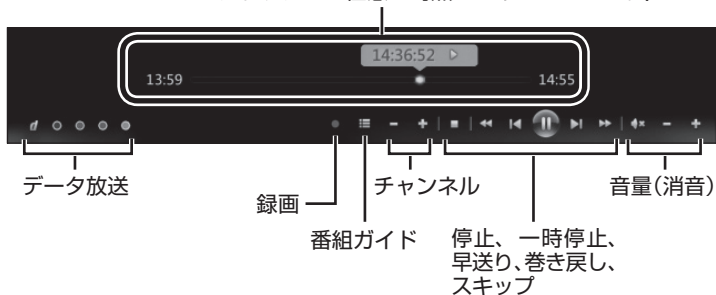
●リモコンの【テレビ】や【テレビメニュー】を押して、テレビを表示させることもできます。

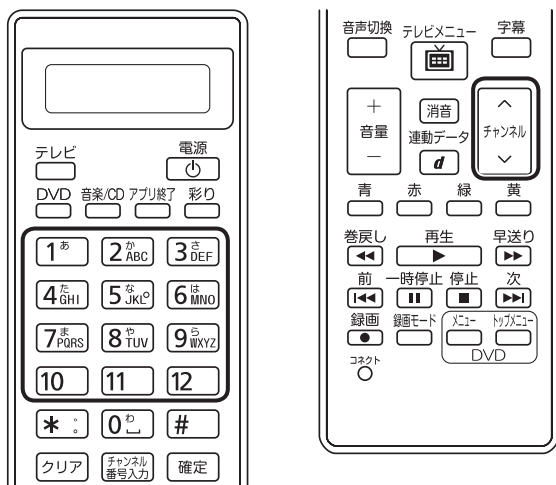
●テレビの初期設定後、はじめてWindows Media Centerを起動すると、録画一覧にアクセスするデスクトップガジェットを追加するかどうか確認するメッセージが表示されます。追加するときは「はい」を選んで【決定】を押してください。

チェック

「画像または音声出力の競合 現在の要求に対応できるチューナがありません。」というメッセージが表示されたときは、Windows Media Centerを終了してください。その後、あらためてWindows Media Centerを起動し、操作し直してください。

■操作パネル

テレビ機能を使っているときにマウスを動かすと、画面に操作パネルが表示されます。テレビの機能は、操作パネルを使ってマウスで操作することもできます。

チャンネルを切り換える

チャンネルを切り換えるには、リモコンの【チャンネル】を押します。数字ボタンでもチャンネルを変更できます。

ポイント

- 番組ガイド(p.31)から、見たい番組を選ぶ方法もあります。
- チャンネルがプリセットされていない数字ボタンを押してもチャンネルは切り換わりません。

■ チャンネル番号を入力して切り換える

リモコンで3桁のチャンネル番号を入力して、チャンネルを切り換えることもできます。

1 リモコンの【チャンネル番号入力】を押す

チャンネル番号の入力欄が表示されます。

2 数字ボタン(【1】〜【9】、【0】)を使って、3桁のチャンネル番号を入力する

3 【確定】を押す

チャンネルが切り換わります。

画質を切り換える

画質を変更するときは、リモコンの【彩り】を押します。

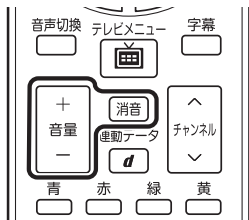
【彩り】を押すと、現在の画質モードを表示した後、彩りの画質モードが次のように切り換わります。
有効→無効→有効→…(以降繰り返し)

「彩り」について
→「彩りの設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94071920で検索

チェック

テレビを全画面で表示しているときは、現在の画質モードが表示されません。【彩り】を繰り返し押して画質を切り換え、お好みの画質モードを選んでください。

音量を調節する

音量を調節するには、リモコンの【音量】を押します。また、【消音】を押すと音量が最小になります(ミュート)。
【消音】をもう一度押すと消音する前の音量に戻ります。

字幕放送を見る

字幕放送をしている番組(番組ガイドで字のマークが付いている番組)では、字幕を表示させることができます。
リモコンの【字幕】を押して、表示されたメニューで字幕を選んだり、表示/非表示を切り換えます。

音声を切り換える

外国映画などの音声多重放送を見るときは、音声(言語)を切り換えることができます。
【音声切換】を押し、表示されたメニューで、音声を選ぶことができます。

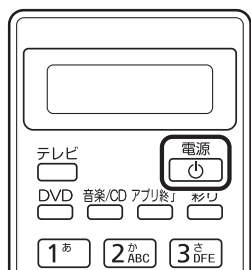
テレビを消す

■ テレビを終了して、パソコンの画面を表示する

1 リモコンの【アプリ終了】を押す

テレビ画面が終了し、パソコンのデスクトップ画面が表示されます。

■ テレビを終了して、パソコンも終了する

2 リモコンの【電源】を押す

パソコンが終了します(ご購入時の状態では、パソコンがスリープ状態になります)。

【電源】を押してからパソコンが終了するまでに、30秒～ 1分程度掛かる場合があります。

PART 2 テレビを見る

タイムシフトモードで見る

このパソコンのテレビの特徴である「タイムシフトモード」の使い方について説明しています。

タイムシフトモードについて

「タイムシフト」とは、テレビ番組を自動的に録画しながら視聴する機能です。リアルタイムで見ている番組も実は一時的にハードディスクに録画されているため、ビデオのように映像を一時停止したり巻き戻したりして楽しむことができます。
このパソコンでは、常にタイムシフトモード(タイムシフト機能を使った状態)でテレビ番組が表示されます。

チェック

- タイムシフトできる時間(リアルタイムの放送からさかのぼって見ることのできる時間)は40分です。
- チャンネルを切り換える前の番組をさかのぼって見ることはできません。

見ている番組を操作する

このパソコンで見ている番組は、ビデオのように操作できます。

●**一時停止**

【一時停止】を押します。続きを見るときはもう一度【一時停止】を押すか、【再生】を押します。

一時停止できる時間は最大40分です。

●**巻き戻し**

【巻戻し】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押すか、巻き戻せる限界(最大40分)まで巻き戻すと、再生が始まります。

【巻戻し】を押すたびに、巻き戻しのスピードが3段階で速くなります。

●**早送り**

【早送り】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押すか、リアルタイムの放送に追いつくと再生が始まります。

【早送り】を押すたびに、早送りのスピードが3段階で速くなります。

リアルタイムの放送に追いつくと、【早送り】は使えなくなります。

●**スキップ**

【前】を押すと約7秒前の映像が再生されます。【次】を押すと約30秒後の映像が再生されます。

巻き戻せるのはその番組を視聴し始めた時点(チャンネルを切り換えた時点)までです。

PART 2 テレビを見る

データ放送を見る

データ放送で、最新のニュースや天気予報など、さまざまな情報を手に入れましょう。双方向サービスもあります。

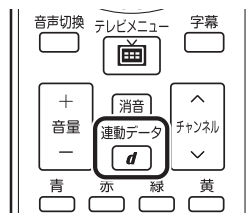
データ放送について

データ放送は、文字や画像で、いろいろな情報を表示する番組です。テレビ放送に関連した内容を表示する「番組連動データ放送」などがあります。
データ放送では、通信回線を使ってクイズやアンケートに参加できたり、オンラインショッピングができる双方向サービスも利用できます。

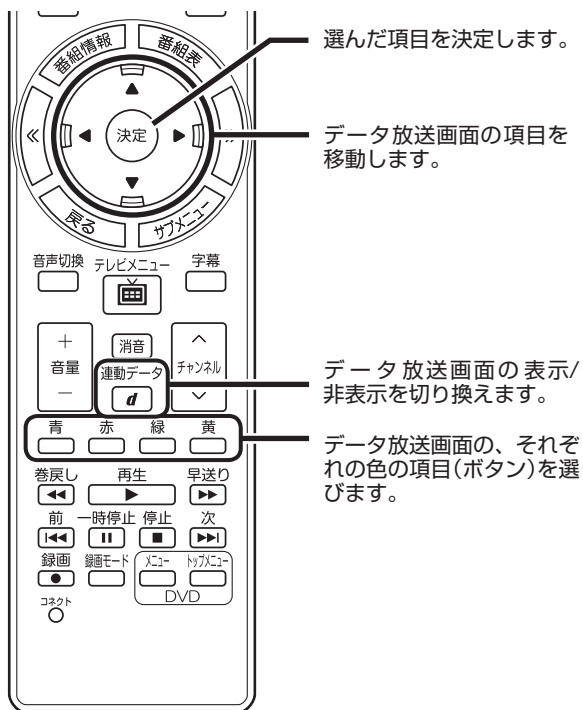
ポイント

双方向サービスを利用するときは、インターネットに接続する必要があります。

データ放送を表示する

1 リモコンの【連動データ】を押す

データ放送の画面が表示されます。

データ放送の操作

データ放送はリモコンやキーボードで操作できます。

- ●操作パネルを使って操作することもできます。
- ●データ放送の画面を直接マウスでクリックして操作することはできません。
- ●データ放送は、サブメニュー(p.29)を使って操作することもできます。

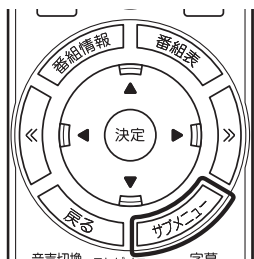
キーボード	操作の内容
【↑】【↓】【←】【→】	データ放送画面の項目を移動します。
【Enter】	選んだ項目を決定します。

PART 2 テレビを見る

サブメニューを使う

サブメニューを使って、番組の情報を確認したり、字幕の切り換えなどの操作をおこなうことができます。

サブメニューを表示する

1 テレビ画面が表示されている状態で【サブメニュー】を押す

サブメニューが表示されます。

ポイント

リモコンの【矢印】の左ボタンまたは右ボタンを押して、サブメニューを表示させることもできます。

サブメニューを使った操作

サブメニューを使って次の操作ができます。
●番組情報を表示する。
●録画などの操作や、再放送の予定を確認する。
●テレビの映像のサイズを調節(拡大/縮小)する。
●字幕の設定を変更する。
●データ放送の操作をする。

■番組情報を表示する

1 サブメニューの「番組情報」を選んで【決定】を押す

見ている番組の、番組情報が表示されます。

ポイント

サブメニューの「詳細」-「概要」を選んで【決定】を押し、番組情報を表示させることもできます。

■録画などの操作をする

1 サブメニューの「詳細」-「操作」を選んで【決定】を押す

録画などに関するメニューが表示されます。それぞれの項目を選んで操作してください。

■再放送の予定などを確認する

1 サブメニューの「詳細」-「その他の放送予定」を選んで【決定】を押す

再放送などの放送予定に関する情報が表示されます。

■テレビの映像のサイズを調節(拡大/縮小)する

1 サブメニューの「拡大/縮小」を選ぶ

映像の大きさの調節に関するメニューが表示されます。

2 映像のサイズを選んで【決定】を押す

次のいずれかをえらんでください。

「拡大/縮小1」:標準のサイズ(拡大/縮小なし)

「拡大/縮小2」:横幅いっぱいに拡大

「拡大/縮小3」:縦幅いっぱいに拡大

「拡大/縮小4」:縦横比を保ったまま拡大

■字幕を表示する

1 サブメニューの「字幕」を選ぶ

字幕の設定に関するメニューが表示されます。

2 表示したい字幕を選んで【決定】を押す

選んだ字幕が表示されます。

ポイント

字幕を非表示にするときは、手順2で「非表示」を選んでください。

■データ放送の操作をする

1 サブメニューの「データ放送」を選ぶ

データ放送の操作(p.28)に関するメニューが表示されます。それぞれの項目を選んで操作してください。

PART 2 テレビを見る

番組ガイドを使う

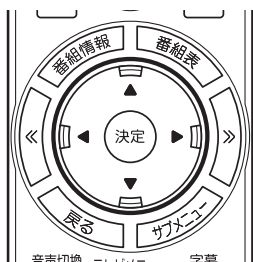
自動的に更新される新聞のテレビ欄のような番組ガイドを使うことができます。

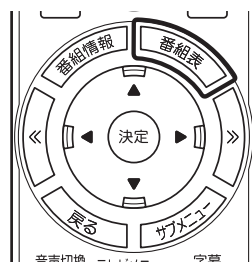
画面で見る番組表

番組ガイドはパソコンの画面で見る番組表です。見たい番組を選ぶのはもちろん、録画の予約をすることもできます。

- 番組ガイドはテレビの電波から自動的に取得されます。取得に時間が掛かることもあります。
- 番組ガイドには、過去7日間に視聴したチャンネルの番組が表示されます。もし「番組データがありません」と表示されたときは、表示されていないチャンネルの番組を視聴してください。

番組ガイドを表示する

1 「Media Center テレビ」-「番組ガイド」を選んで【決定】を押す

番組ガイドが表示されます。

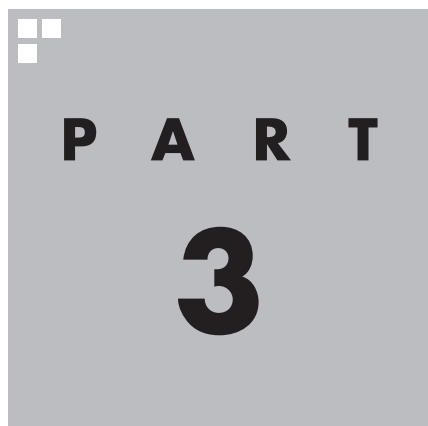
- リモコンの【番組表】を押して番組ガイドを表示させることもできます。
- テレビや録画番組を見ているときにリモコンの【番組表】を押すと、映像の上に番組ガイドが表示されます。

Ⓐ放送波の表示
ここを選ぶと、このパソコンで視聴できるテレビの放送波(地デジ)が表示されます。また、表示された「番組の検索」を選んで【決定】を押すと、番組の検索画面(p.41)を表示させることもできます。

Ⓑチャンネル
チャンネルが表示されます。チャンネルを選んで【決定】を押すと、そのチャンネルの番組だけが表示されます。

Ⓒ日時
番組の放送日時が表示されます。リモコンの【矢印】の左右ボタンを押して、表示されている日時を変更することができます。

Ⓓ番組の一覧
テレビの番組欄のように番組の一覧が表示されます。放送中の番組を選んで【決定】を押すと、その番組を視聴できます。放送前の番組を選んで【決定】を押すと、録画等の設定をおこなうメニュー(p.38)が表示されます。

Ⓔ番組の情報
番組の一覧で選んだ番組の情報が表示されます。番組を選んでリモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューで「番組の詳細」を選んで【決定】を押すと、より詳しい情報が表示されます。

番組ガイドを終了するときは、リモコンの【戻る】を押してください。

録画・予約・再生する

パソコンをハードディスクレコーダーとして使ってみましょう。今見ている番組はもちろん、番組ガイドを使って予約した番組を、パソコンのハードディスクに録画できます。
録画された番組は一覧から選んで再生できます。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 3
録画・予約・再生する

テレビを録画するときは

番組を録画する前に、知っておいていただきたいことを説明します。

テレビを録画するときの注意

このパソコンでテレビを見るときは、次のことに注意してください。

●パソコンのテレビ機能を使うためには、インターネットを使ってライセンスの認証をおこなう必要があります。テレビ番組を見たり録画するときは、必ずパソコンをインターネットに接続しておいてください。

●パソコンの時計は正しい時刻に合わせておいてください。時刻が合っていないと正常に録画できません。

●このパソコンでは、テレビ番組をハードディスクに一時的に録画しながら映像を表示するタイムシフト機能を使っており、番組を録画するときだけでなく、視聴するときもハードディスクを使用しています。ハードディスクの書き込みを効率的にするために、定期的にディスクデフラグを実行してください。ディスクデフラグツールは、「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「ディスクデフラグツール」で起動できます。

●システムの状態によっては画面が乱れることがあります。

●このパソコンのテレビ機能を使うときは、画面の解像度や色の設定をご購入時の状態から変更しないでください。

●録画中にパソコンのシャットダウンなどをおこなうと、そのとき録画していた番組は視聴できない(録画データが正常に作成されない)ことがあります。

●予約録画をするときは必ず電源コードを接続しておいてください。

●電源が切れた状態では予約録画できません。

●テレビ番組を録画しているときや予約録画の待機状態のときは、パソコンの周辺機器の取り付け、取り外し、およびメモリーカードなどの抜き差しをしないでください。録画が正しく動作しない場合があります。

●このパソコンで録画した番組は、このパソコンのMedia Centerテレビでのみ再生できます。別のパソコンでは再生できません。またほかの動画再生ソフトでは再生できません。ただし、DVDなどに保存することで、対応したソフトやプレーヤで再生できます。

●録画の予約が重なっているときは、番組の開始時間が早い番組が優先的に録画されます。録画の開始時間が遅い番組は、重複した部分が録画されません。
詳しくはMicrosoft社のホームページをご覧ください。
http://support.microsoft.com/kb/967652/ja

チェック

ディスクデフラグには時間が掛かります。十分な時間がとれるときに実行してください。

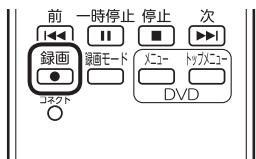
●ご購入時には、録画に必要なハードディスクの容量が不足すると、すでに録画された番組が古い順に自動で削除されるよう設定されています。この設定は、付録の「録画の設定をする」(p.68)で変更することができます。また、番組を録画予約するときや、録画された番組について、個別にこの設定を変更することができます。
●パソコンがスリープ状態や休止状態へ移行したり、復帰するタイミングによっては、期待した時間に録画を開始または終了できない場合があります。

PART 3 録画・予約・再生する

今見ている番組を録画する

ビデオと同じように、見ている番組をすぐに録画できます。

1 【録画】を押す

続けて2回押すとシリーズ録画になります。

番組名とともに録画の状態を表すアイコンが表示され、録画が始まります。

録画：

シリーズ録画：

2 録画をやめたいところで【録画】を2回(シリーズ録画のときは1回)押す

録画の状態を表すアイコンが消えた状態で番組名が表示され、録画が終了します。

録画した番組を見る方法は、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.43)をご覧ください。

チェック

- 録画を始める前に、必要に応じて録画の設定を変更してください。(p.68)
- シリーズ録画は、毎週放送されるシリーズものの番組をまとめて録画予約する機能です。なお、シリーズものの番組であっても、内容によってはシリーズ録画されないことがあります。

チェック

【録画】を押すたびに、次のように切り換わります。
録画→シリーズ録画→録画しない→録画→・・・(以降繰り返し)
録画を終了するときは、録画の状態を表すアイコンが消えたことを確認してください。

PART 3 録画・予約・再生する

番組ガイドで予約録画する

画面で見る番組表、「番組ガイド」から、番組を選んで予約することができます。

番組ガイドで予約する

1 「Media Center テレビ」-「番組ガイド」を選んで【決定】を押す

番組ガイドが表示されます。

2 録画する番組を選び、【録画】を押す

録画を続けて2回押すとシリーズ録画になります。

番組に録画の状態を表すアイコンが表示されます。

録画：

シリーズ録画：

これで録画予約できました。

チェック

- 録画を始める前に、必要に応じて録画の設定を変更してください。（p.68）
- シリーズ録画は、毎週放送されるシリーズものの番組をまとめて録画予約する機能です。なお、シリーズものの番組であっても、内容によってはシリーズ録画されないことがあります。
- リモコンの【番組表】を押して番組ガイドを表示させることもできます。
- テレビや録画番組を見ているときにリモコンの【番組表】を押すと、映像の上に番組ガイドが表示されます。

チェック

- 選んだ番組と同じ時間帯に他の予約が入っているときは、番組を選ぶ画面が表示されます。また、シリーズ録画の予約が他の予約録画と重複したときは、シリーズ録画の方法を選ぶ画面が表示されます。画面の指示にしたがって、予約する番組やシリーズ録画の方法を選んでください。
- 【録画】を押すたびに、次のように切り換わります。
  録画→シリーズ録画→録画しない→録画→・・・（以降繰り返し）
  録画をキャンセルするときは、【録画】を押して録画の状態を表すアイコンを消してください。

ポイント

録画したい番組を選んで【決定】を押し、番組の詳細情報を確認したり、録画の設定を変更してから録画予約することもできます。（p.38）

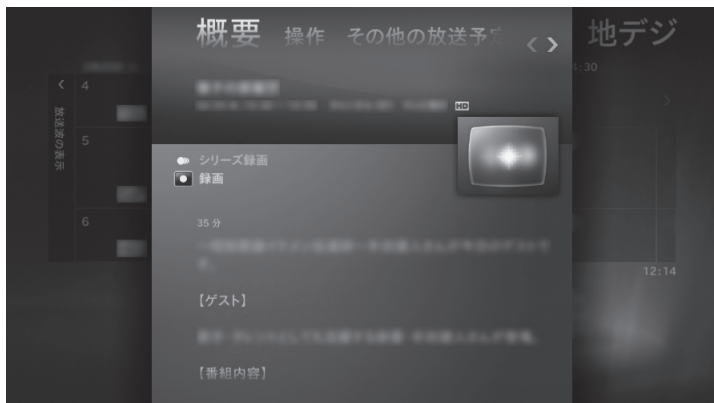
■録画の設定を変更して録画予約するときは

テレビの録画に関するWindows Media Centerの設定(p.68)を、一部変更して録画予約することができます。

1 「Media Center テレビ」-「番組ガイド」を選んで【決定】を押す

番組ガイドが表示されます。

2 録画する番組を選んで【決定】を押す

録画番組の情報が表示されます。

チェック

- リモコンの【番組表】を押して番組ガイドを表示させることもできます。
- テレビや録画番組を見ているときにリモコンの【番組表】を押すと、映像の上に番組ガイドが表示されます。

ポイント

番組によっては「シリーズ録画」を設定できません。

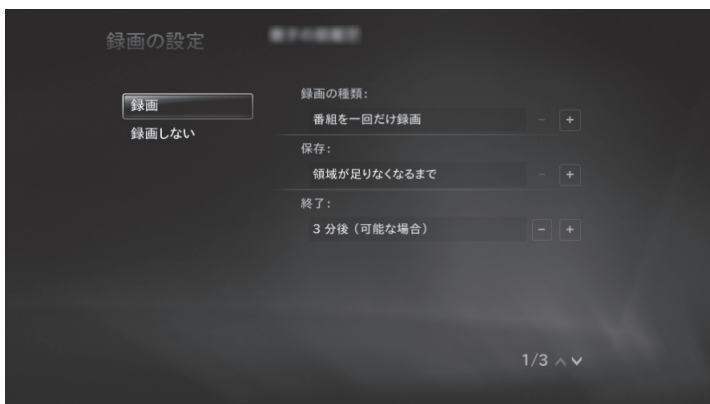
3 【矢印】の右ボタンを押す

操作の画面が表示されます。

4 「録画の詳細設定」を選んで【決定】を押す

詳細設定が表示されます。

5 項目を選んで設定を変更する

変更したい項目の＋または－を選んで【決定】を押し、設定内容を変更してください。

設定項目については、付録の「録画の設定をする」の手順5(p.69)をご覧ください。

6 「録画」を選んで【決定】を押す

これで録画予約できました。番組ガイドに戻るときは【戻る】を押します。

録画の予約を取り消す・設定を変更する

予約を取り消したり、予約した録画の詳細設定を変更することができます。

■録画予約を取り消す

1 「Media Center テレビ」-「番組ガイド」を選んで【決定】を押す

番組ガイドが表示されます。

ポイント

予約録画の状態を表すアイコンは以下のとおりです。

録画:

シリーズ録画:

2 予約済みの番組を選び、次の操作をおこなう

録画を取り消すとき:【録画】を2回押してください。
シリーズ録画を取り消すとき:【録画】を1回押してください。
予約録画の状態を表すアイコンが消えます。これで予約の取り消しは完了です。

■録画予約の設定を変更する

1 「Media Center テレビ」-「番組ガイド」を選んで【決定】を押す

番組ガイドが表示されます。

ポイント

予約録画の状態を表すアイコンは以下のとおりです。

録画:

シリーズ録画:

2 予約済みの番組を選んで【決定】を押す

録画番組の概要が表示されます。

3 【矢印】の右ボタンを押す

操作の画面が表示されます。

4 「録画の設定」を選んで【決定】を押す

録画の設定を変更するとき:録画の設定が表示されます。そのまま手順5に進んでください。
シリーズ録画の設定を変更するとき:「この回のみの設定」または「シリーズ全体の設定」のどちらかを選んで【決定】を押し、手順5に進んでください。

5 項目を選んで設定を変更する

変更したい項目の+または−を選んで【決定】を押し、設定内容を変更してください。
設定項目については、付録の「録画の設定をする」の手順5(p.69)をご覧ください。

6 「保存」を選んで【決定】を押す

これで録画予約の変更は完了です。

ポイント

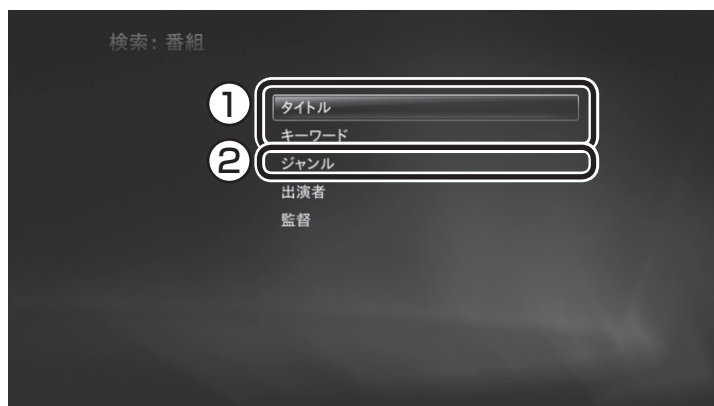
ここで「録画しない」または「シリーズ録画の取り消し」を選んで【決定】を押し、録画予約を取り消すこともできます。

番組を検索する

番組ガイドのデータを使って、お好みの番組を探すことができます。

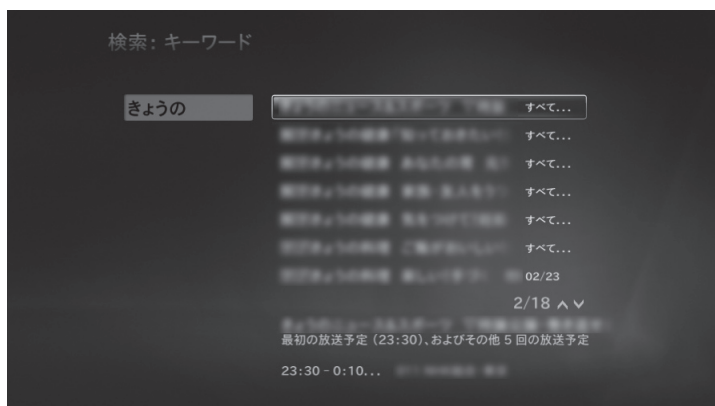
1 「Media Center テレビ」-「番組検索」を選んで【決定】を押す

検索の画面が表示されます。

2 検索に使用するキー(キーワードやジャンルなど)を選ぶ

次のいずれかの操作をします。

①**タイトル、キーワード**
　いずれかを選んで【決定】を押し、表示された画面で検索用のキー(タイトル名や出演者名などの文字列)を入力してください。

②**ジャンル**
　選んで【決定】を押し、表示された項目を繰り返し選んで、検索用のキーとなるジャンルを絞り込んでください。

キーに一致した番組の一覧が表示されます。

表示された番組を選んで、録画予約することもできます(p.37)。

PART 3 録画・予約・再生する

録画した番組を再生する

録画した番組は、一覧から選んで再生できます。

再生の方法

1 「Media Center テレビ」-「録画一覧」を選んで【決定】を押す

録画番組の一覧が表示されます。

2 再生したい番組を選んで【決定】を押す

番組の概要が表示されます。

ポイント

- リモコンの【録画番組】を押して録画番組の一覧を表示させることもできます。
- 録画一覧にアクセスするデスクトップガジェットを追加しているときは、そこから録画番組の一覧を表示させることもできます。

ポイント

画面上部の「録画日」や「タイトル」などを選んで、録画の一覧を並べ替えることができます。

3 「再生」を選んで【決定】を押す

番組の再生が始まります。再生を終了するときは、【停止】を押します。

■再生中の操作について

再生中の番組は、ビデオのように操作できます。

●一時停止

【一時停止】を押します。続きを見るときはもう一度【一時停止】を押すか、【再生】を押します。

●巻き戻し

【巻戻し】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押すか、巻き戻せる限界（録画の冒頭部分）まで巻き戻すと、再生が始まります。

【巻戻し】を押すたびに、巻き戻しのスピードが3段階で速くなります。

●早送り

【早送り】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押します。

【早送り】を押すたびに、早送りのスピードが3段階で速くなります。

●スキップ

【前】を押すと約7秒前の映像が再生されます。【次】を押すと約30秒後の映像が再生されます。

ポイント

番組を選んだ後、【再生】を押して再生を始めることもできます。

録画した番組を削除する

必要のない録画番組を削除することができます。

1 「Media Center テレビ」-「録画一覧」を選んで【決定】を押す

録画番組の一覧が表示されます。

2 削除したい番組を選んで【決定】を押す

番組の概要が表示されます。

3 「削除」を選んで【決定】を押す

削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。

4 「はい」を選んで【決定】を押す

番組が削除されます。

ポイント

録画した番組を外付けハードディスクなどに移動することもできます。（p.66）

録画した番組の保存期間を変更する

録画番組の保存期間を変更することができます。

1 「Media Center テレビ」-「録画一覧」を選んで【決定】を押す

録画番組の一覧が表示されます。

2 保存期間を変更したい番組を選んで【決定】を押す

概要の画面が表示されます。

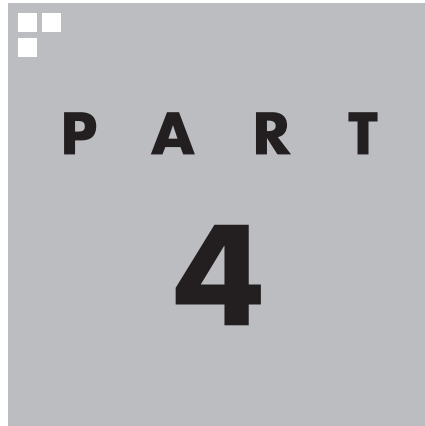
3 【矢印】の右ボタンを押す

操作の画面が表示されます。

4 「保存期間」を選んで【決定】を押す

番組を保存する期間の一覧が表示されます。

5 保存する期間を選んで【決定】を押す

これで録画番組の保存期間が変更されました。

録画番組を光ディスク（DVDなど）に保存する

このPARTでは、録画番組をDVDなどの光ディスクに保存する方法について説明しています。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 4
録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する

番組を光ディスクに保存するときは

番組を光ディスクに保存する前に、知っておいていただきたいことを説明します。

コピー制御方式について

デジタル放送のほとんどの番組には、著作権を保護するため「ダビング10」または「コピーワンス」と呼ばれるコピー制御が加えられています。

●**ダビング10の番組**
光ディスクに10回まで保存できます。(9回まではコピー、最後の1回はムーブ(移動))

●**コピーワンスの番組**
光ディスクに1回だけ保存(ムーブ(移動))できます。

チェック

●ムーブ(移動)したときは、番組がハードディスクから削除されます。

●番組を保存した光ディスクから再度コピーを作成する(孫コピーを作成する)ことはできません。

光ディスクについて

使用できる光ディスクの種類および保存形式は次のとおりです。

光ディスクの種類	保存形式
BD-RE(1層/2層) BD-R(1層/2層)	BDAV2.0
CPRM対応のDVD-R(1層/2層) CPRM対応のDVD-RW CPRM対応のDVD-RAM	DVD-VR

※:ブルーレイディスク(BD-RE、BD-R)に保存できるのは、ブルーレイディスクドライブモデルのみです。

■保存形式について

●**BDAV2.0**
デジタル放送をそのままブルーレイディスクに記録できる形式です。

●**DVD-VR**
アナログ放送用のDVDレコーダなどで使われている形式です。
画質は標準(SD)に変換されます。
データ放送や字幕の情報、番組情報は削除されます。
音声1以外の副音声は削除されます。
5.1チャンネルの音声は2チャンネルに変換されます。

複数の音声が含まれる番組であっても、ブルーレイディスクに保存される音声は1つだけです。

■保存時間について

1枚の光ディスクに保存できる番組の時間は以下のとおりです。

●ブルーレイディスク

番組の種類	1層	2層
HD(ハイビジョン)	約3時間	約6時間
SD(標準)	約6時間30分	約13時間

●DVD

記録モード	1層	2層
高画質(XP)	約1時間	約2時間
標準画質(SP)	約2時間	約3時間30分
長時間(LP)	約4時間	約7時間

番組を光ディスクに保存するときの注意

光ディスクに番組を保存するときは、次のことに注意してください。

●パソコンのテレビ機能を使うためには、インターネットを使ってライセンスの認証をおこなう必要があります。また、録画番組を光ディスクに保存できる回数は、Microsoft社のサーバーによって管理されているため、インターネットを使って通信をおこなう必要があります。録画した番組を光ディスクに保存するときは、必ずパソコンをインターネットに接続しておいてください。
●番組の保存が始まったら終了するまでパソコンを操作しないでください。シャットダウンなどの操作はもちろん、他のソフトを起動したり、前の画面に戻ったり、テレビを終了したりすると、正常に保存できなくなります。
●テレビ以外のソフトはあらかじめすべて終了させてください。
●番組の保存中はテレビを見たり録画することができません。
●番組の保存中は録画番組を再生しないでください。録画番組を再生すると、音声だけが出力されます。
●光ディスクに保存する時間は、その番組の再生時間より長くなることがあります。
●保存に失敗すると、番組をコピーできる回数が1回減ります。コピーワンスの番組など、光ディスクへのコピーが1回だけ(ムーブのみ可能)の番組は特にご注意ください。
●ダビング10が指定されている番組は、10回まで光ディスクにダビングすることができます。ひとつの番組を複数回に分けて録画したときでも、ダビングできる回数は番組ごとに10回までです。10回目のダビングは光ディスクへのムーブ(移動)となり、録画データがハードディスクから削除されます。同じ番組を複数回に分けて録画したとき、10回目のダビングの後に同じ番組の録画データがハードディスク上に残ることがありますが、そのデータはダビングすることも再生することもできません。

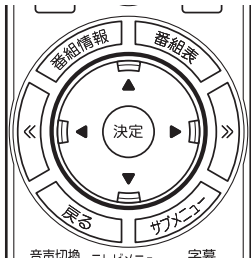
ポイント

ダビングの回数は、番組ごとにカウントされます。

●ダビングの正確な残り回数はMicrosoft社のサーバーによって管理されています。録画番組の一覧に表示されるダビングの残り回数は目安としてください。
●複数の番組をまとめて保存することはできません。1枚の光ディスクに複数の番組を保存するときは、追記可能なDVD-RAMディスク、DVD-RWディスク、またはBD-REディスクを使って、1番組ずつ繰り返し保存してください。
●録画番組を光ディスクに保存している間は、パソコンをシャットダウンしたり再起動したりしないでください。
●録画番組を光ディスクに保存している途中でキャンセルの操作をすると、その時点までのデータがディスクに保存され、ダビングできる回数が1回減ります。
●DVDに保存するときは、5.1chサラウンドが2chステレオにダウンミックスされます。
●すでに他のデータが保存されているDVD-RAM(UDF2.00以外の形式でフォーマットされたDVD-RAM)には、番組を追加して保存することができません。

■Windows Media Centerのスクリーンセーバー機能をオフにする

番組を光ディスクに保存するとき、Windows Media Centerのスクリーンセーバー機能が働いているとエラーメッセージが表示されることがあります。次の操作でこの機能をオフにしてください。

1 「タスク」-「設定」を選んで【決定】を押す

2 「ピクチャ」を選んで【決定】を押す

3 「スライドショーのスクリーンセーバー」を選んで【決定】を押す

4 「お気に入りの画像をスクリーンセーバーとして使用する」が☑になっているときは、これを選んで【決定】を押し■にする

5 「保存」を選んで【決定】を押す

光ディスクをフォーマットする

DVD-RAMおよびBD-RE、BD-Rに番組を保存する場合は、必要に応じて、UDF形式でフォーマットをする必要があります。

※フォーマット済みで販売されている光ディスクもあります。また、すでに番組を保存した光ディスクの空き容量に番組を追加して保存する場合は、フォーマットしないでください。

ポイント

フォーマットすると、光ディスクに保存されていたデータはすべて削除されます。

■ Windows 7の機能で光ディスクをフォーマットする

この操作はマウスでおこないます。

1 DVD/CDドライブに光ディスクをセットする

2 「スタート」-「コンピューター」をクリック

ポイント

「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」を選んでください。

3 DVD/CDドライブを右クリックして、表示されたメニューから「フォーマット」をクリック

「フォーマット」画面が表示されます。

4 「ファイル システム」の右の ▼ をクリックして、表示されたメニューからフォーマット形式を選んでクリック

録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する

フォーマット形式には次の種類があります。必要に応じて選んでください。

光ディスクの種類	保存形式※	フォーマット形式
BD-RE	BDAV	UDF2.50
BD-R	BDAV	UDF2.60
DVD-RAM	DVD-VR	UDF2.00

※ 保存形式について詳しくは、「保存形式について」(p.48)をご覧ください。

5 「開始」をクリック

確認のメッセージが表示されるので、「OK」をクリックすると、フォーマットが始まります。

PART 4 録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する

番組を光ディスクに保存する

デジタル放送番組をDVDやブルーレイディスクに保存する方法について説明します。

ブルーレイディスク(BD-RE、BD-R)に保存できるのは、ブルーレイディスクドライブモデルのみです。

番組を光ディスクに保存します。

「Media Center テレビ」-「録画一覧」の、各番組のメニューにある「操作」の「CD/DVDの書き込み」から光ディスクに保存することはできません。これはこのパソコンの仕様です。

1 DVD/CDドライブに光ディスクをセットする

2 「Extras」-「Extrasライブラリ」を選んで【決定】を押す

Extrasライブラリの画面が表示されます。

3 「DDR Move」を選んで【決定】を押す

録画番組の一覧が表示されます。

チェック

光ディスクをセットしたときに、別のウィンドウが表示されたり、Corel WinDVD、Corel WinDVD BDが起動した場合は、表示されたウィンドウ右上の☒をクリックしてウィンドウを閉じてください。

ポイント

- 必要に応じて、操作の前に光ディスクのフォーマットをおこなってください。(p.51)
- 「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」を選んでください。
- 複数の番組を同時に保存することはできません。

ポイント

Microsoft PlayReady™テクノロジーについてのメッセージが表示されたときは、マウスを使って「OK」をクリックしてください。

4 光ディスクに保存したい番組を選んで【決定】を押す

フォーマット(保存画質)の選択画面が表示されます。

5 フォーマット(保存画質)を選ぶ

①保存するフォーマット(保存画質)を選んで【決定】を押す
◯を◉にしてください。
②「次へ」を選んで【決定】を押す

書き込みドライブの選択画面が表示されます。

6 ドライブ名を確認し、「次へ」を選んで【決定】を押す

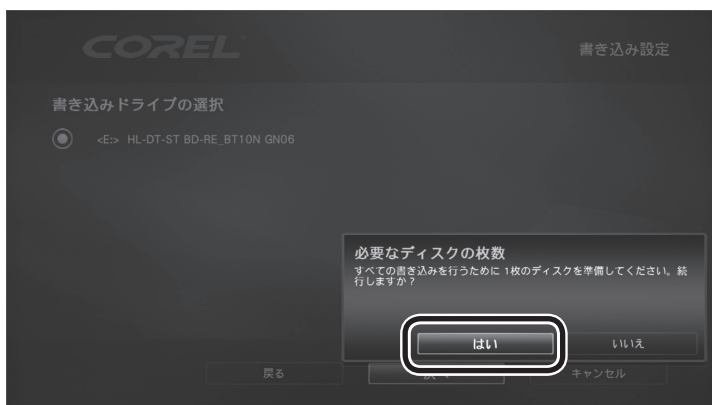
「書き込みを開始してよろしいですか?」というメッセージが表示されます。

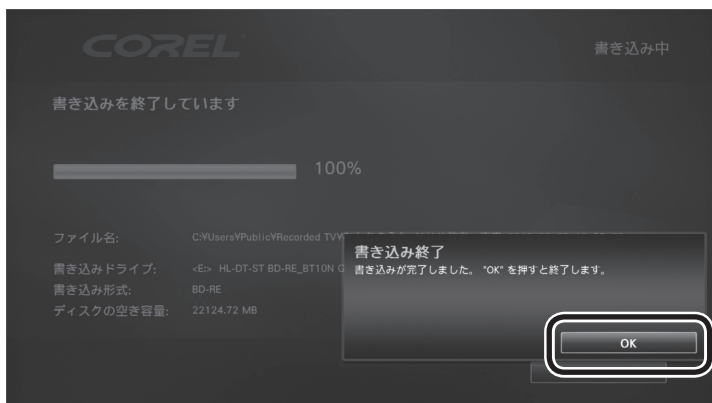
ポイント

- すでに番組を保存した光ディスクをセットしたときは、「ディスクが空ではありません。」というメッセージが表示されます。新たに番組を追加して保存するときは「いいえ」を選んで【決定】を押し、操作を進めてください。
- 「サポートしていないディスクフォーマットです。」と表示されたとき、「はい」を選んで【決定】を押すと光ディスクがフォーマットされます。光ディスクに保存されていたデータはすべて消去されます。

7 「はい」を選んで【決定】を押す

必要な光ディスクの枚数と「続行しますか？」というメッセージが表示されます。

8 「はい」を選んで【決定】を押す

書き込みが始まります。終了するまで一切の操作をしないでください。
終了すると、「書き込みが完了しました。」というメッセージが表示されます。

9 「OK」を選んで【決定】を押す

これで光ディスクへの保存は完了です。

PART 4
録画番組を光ディスク(DVDなど)に保存する

光ディスク(DVDなど)に保存した番組を再生する

光ディスクに保存した番組をパソコンで再生して楽しむことができます。

ブルーレイディスク(BD-RE、BD-R)を再生できるのは、ブルーレイディスクドライブモデルのみです。

再生するときの注意

●DVDに保存した番組を再生するときは、あらかじめCPRMの機器鍵(デバイスキー)をダウンロードしておく必要があります。CPRMの機器鍵(デバイスキー)をダウンロードするときは、パソコンをインターネットに接続しておいてください。
●ブルーレイディスクに保存した番組を再生するときは、AACSキーが必要です。AACSキーは一定の期間が過ぎた後に更新が必要になります(p.57)。AACSキーを更新するときは、パソコンをインターネットに接続しておいてください。
●番組を録画しているとき、および録画予約している時間帯には、光ディスクに保存した番組を再生しないでください。
●Corel WinDVD、Corel WinDVD AVC、またはCorel WinDVD BD以外のソフトはあらかじめすべて終了させてください。
●ブルーレイディスクの再生には、Corel WinDVD BDを使用してください。
●ブルーレイディスクを再生すると、画面の配色がWindows 7ベーシックになり、ウィンドウの透過などの見栄えが変わることがあります。Corel WinDVD BDを終了するともとに戻ります。

DVDに保存した番組を再生する

DVDに保存した番組(VRモードで保存した番組)は、Corel WinDVD、Corel WinDVD AVC、またはCorel WinDVD BDで再生します。
必要に応じて、CPRMのアップデートをする必要があります。

ポイント

CPRMのアップデートをうながす画面が表示されたら、画面の指示にしたがって操作してください。

1 リモコンの【DVD】を押す

2 DVD-RAM/DVD-RをDVD/CDドライブにセットする

映像の再生が始まります。

ブルーレイディスクに保存した番組を再生する

BD-R/BD-REに保存した番組は、Corel WinDVD BDで再生します。

1 リモコンの【DVD】を押す

2 BD-R/BD-REをブルーレイディスクドライブにセットする

映像が再生されます。

■AACSキー(再生用)を更新する

- ●このパソコンのブルーレイディスク再生機能は次世代著作権保護技術AACS(Advanced Access ContentSystem)に対応しています。著作権保護されたブルーレイディスクを再生するには、AACSキーの更新が必要です。また、更新の際にはインターネット接続環境が必要です。
- ●AACSのキーの更新は無償で提供いたしますが、NEC、コーレル株式会社の判断で予告なく終了することがあります。光ディスクを再生したときに、「AACSキーの有効期間が終了しました。」と表示されたときは、AACSキーの更新が必要です。AACSキーの更新手順は次のとおりです。

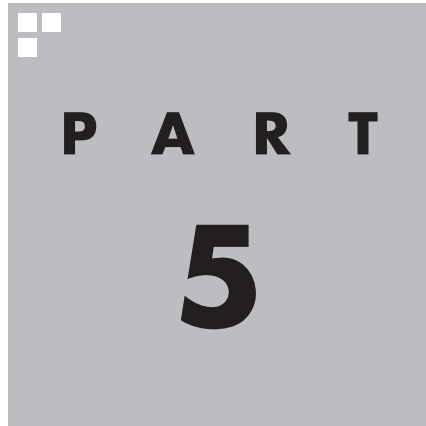
1 AACSキーの含まれたコンテンツを再生したときに、「新しいタイトルを再生するにはいくつかのモジュールをアップデートする必要があります。・・・」という画面が表示されたら、「はい」をクリック

自動的にInternet Explorerが起動し、Corelオンライン登録ページが表示されます。

2 Corelオンライン登録ページにユーザー登録している場合は、登録したメールアドレスとパスワードを入力して「サインイン」をクリック

登録していない場合は、表示された画面の指示にしたがって新規ユーザー登録をおこなってください。
「サインイン」をクリックすると、AACSキーのダウンロードが始まります。終了すると自動的に画面が閉じます。

3 アップデートが完了しました。このタイトルを再生するには[OK]を押してください。」の画面で「OK」をクリック

これで、AACSキーが更新されます。

Q&A

テレビを見ていて困ったことがあったときは、ここをご覧ください。

PART 5
Q&A

テレビを見ているとき

テレビが映らない、音が出ないなど、テレビを見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

テレビが映らない

■ 接続は正しいですか？

PART1の「こんな準備が必要です。」(p.2)をご覧になり、アンテナケーブルの接続を確認してください。

■ テレビの初期設定は終わっていますか？

テレビを見るには、あらかじめテレビの初期設定が必要です。設定についてはPART1の「テレビの初期設定をする」(p.15)をご覧ください。

■ パソコンをお使いの場所は地上デジタル放送のサービスエリア内ですか？

パソコンをお使いの場所がサービスエリアに含まれているかどうかを確認してください。放送エリアについて詳しくは、社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)のホームページ(http://www.dpa.or.jp/)でご確認ください。

■ お使いのアンテナはUHF帯に対応していますか？

デジタル放送は、UHF帯の電波を使っています。お使いのアンテナがUHF帯に対応しているか確認してください。また、アンテナがデジタル放送を送信している電波塔に向いているかどうかも確認してください。

■ ケーブルテレビの伝送方法は対応していますか？

ケーブルテレビなどをお使いの場合は、受信できるかどうか、ケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

■ miniB-CASカードは正しくセットされていますか？

本パソコン添付のminiB-CASカードがなければ、デジタル放送を視聴できません。また、正しい向きでセットされていないと映像が映りません。
PART1の「miniB-CASカードをセットする」をご覧になり、miniB-CASカードを正しくセットしてください。

■ 画面の解像度や色の設定を変更していませんか？

このパソコンのテレビ機能を使うときは、画面の解像度や色の設定をご購入時の状態から変更しないでください。変更している場合は、もとに戻してください。

■ チャンネル設定がパソコンを使う場所と合っていない

パソコンをお使いになる場所とチャンネル設定で選択した地域が一致していることを確認してください。

■ インターネットに接続していない

パソコンのテレビ機能を使うためには、インターネットを使ってライセンスの認証をおこなう必要があります。テレビ番組を見たり録画するときは、必ずパソコンをインターネットに接続しておいてください。

画像が乱れる・コマ落ちする

■ お使いのアンテナはデジタル放送を送信している電波塔を向いていますか？

デジタル放送を送信している電波塔は、アナログ放送の電波塔と異なる場合があります。アンテナがデジタル放送を送信している電波塔に向いているかどうか確認してください。

■ 接続は正しいですか？

PART1の「こんな準備が必要です」(p.2)をご覧になり、アンテナケーブルの接続を確認してください。

■ パソコンに接続しているアンテナケーブルにBS/CS放送の電波が混合されていませんか？

地上デジタル放送の電波にBS/CS放送の電波が混合されたアンテナケーブルを本機に接続していると画像が乱れたり、コマ落ちすることがあります。分波器を使って分波してから本機に接続してください。
詳しくは、お近くの電器店やアンテナ工事業者などにご相談ください。

■ 分配器などの影響でデジタル放送の受信レベルが下がっていませんか？

分配器などの影響で受信レベルが下がると、画像が乱れることがあります。必要に応じて電波を増幅するブースターを設置してください。
詳しくは、お近くの電器店やアンテナ工事業者などにご相談ください。

■ 他のソフトを使用していませんか？

他のソフトを使っていると、テレビの機能が影響を受けることがあります。ウイルスバスターの動作(ウイルススキャンや自動アップデートなど)にもご注意ください。
テレビを快適に視聴するために、必要でないソフトはすべて終了することをおすすめします。

音が出ない、音が大きすぎる・小さすぎる

■ 音量を調節してください

操作パネルで音量を調節してください。また、ミュート(消音)になっていないか確認してください。

PART 5
Q&A

録画について

予約録画で問題が起きたときは、ここをご覧ください。

■ パソコン内蔵の時計は正確ですか？

パソコンの時計は正しい時刻に合わせておいてください。時刻が合っていないと正常に録画できません。

■ ウイルススキャンや、Windows Updateの設定を確認してください

月に数回など、定期的に録画予約が失敗する場合は、ウイルススキャンやWindows Updateのアップデート時間が、録画時間と重複し、録画が失敗している可能性があります。
ウイルスバスターやWindows Updateの設定を変更してください。

■ 電源プランの「スリープ解除タイマー」の設定が「無効」になっていませんか？

「スリープ解除タイマーの許可」の設定が無効になっていると、パソコンがスリープ状態から復帰できず、予約録画ができないことがあります。
「コントロールパネル」の「システムとセキュリティ」-「電源オプション」の電源プランを選んで変更できる詳細設定で、「スリープ」-「スリープ解除タイマーの許可」の設定が「有効」になっていることを確認してください。

■ すでに録画予約した番組と、予約した時間帯が重なっていませんか？

録画の予約が重なっているときは、番組の開始時間が早い番組が優先的に録画されます。録画の開始時間が遅い番組は、重複した部分が録画されません。
詳しくはMicrosoft社のホームページをご覧ください。
http://support.microsoft.com/kb/967652/ja3

PART 5 Q&A

その他

画面上にメッセージが表示されたときは

■「受信できません」と表示された

miniB-CASカードが正しくセットされていない可能性があります。PART1の「miniB-CASカードをセットする」をご覧になり、miniB-CASカードを正しくセットしてください。

■「テレビ信号がありません」または「微弱なテレビ信号」と表示された

チャンネルの信号が検出できないときなどに表示されます。PART1の「アンテナケーブルを接続する」をご覧になり、アンテナケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。なお、このメッセージは、選択したチャンネルの放送が中断しているときにも表示されます。

■「コピー禁止」と表示された

他のパソコンの外付けハードディスクなどに録画した番組を、このパソコンで再生しようとしたときに表示されます。
なお、他のパソコンで録画した番組も、DVDやブルーレイディスクに保存すれば、このパソコンや市販のプレーヤで再生することができます。
また、Cドライブを再セットアップしたときは、このパソコンで録画したテレビ番組のデータが残っていても、再生の操作をすると上記のメッセージが表示され、再生できません。

■「画像または音声出力の競合 現在の要求に対応できるチューナがありません。」と表示された

このメッセージが表示されたときは、いったんWindows Media Centerを終了し、あらためてWindows Media Centerを起動して、操作しなおしてください。

■「サービスを利用できません」と表示された

次の2つの原因が考えられます。状況に応じていずれかの対応をおこなってください。

- ●電波は正常に受信できていますが、チャンネルの信号が検出できません。選択したチャンネルの放送が中断している可能性があります。放送が再開されてからあらためてMedia Center テレビを起動してください。
- ●インターネットに接続されていないときに、テレビの視聴や録画番組の再生をおこなうと、このメッセージが表示されます。インターネットに接続してから、あらためてMedia Center テレビを起動してください。

■「Aeroグラスが無効です」と表示された

Window Aeroが無効になっているとテレビの機能が使えません。Window Aeroを有効にしてください。なお、他のソフトの影響で一時的にWindows Aeroが無効になっていても、テレビの機能が使えなくなります。その場合は、該当するソフトを終了し、Windows Media Centerを起動しなおしてください。

パソコンを再セットアップするときは

■ 録画番組を光ディスクに保存してください

パソコンを再セットアップすると、再セットアップ前に録画した番組は、外付けハードディスクなどにデータが残っていても再生できなくなります。
再セットアップ前に光ディスクに保存してください(p.47)。

録画番組を光ディスクに保存するとき、番組が表示されない

■ 画面に表示されているフォルダーを確認・変更してください

「番組を光ディスクに保存する」の手順4(p.54)で、録画番組が画面に表示されないときは、マウスを使って次の操作をしてください。

1 **右クリックし、表示されたメニューで、「フォルダ選択」をクリック**

フォルダを選ぶ画面が表示されます。

2 **録画番組のデータが保存されているフォルダをクリックして選ぶ**

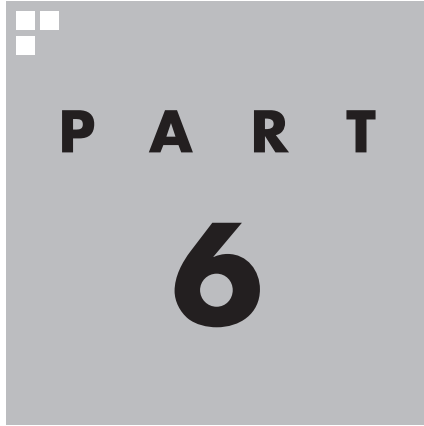
次のフォルダを選んでください。
C: ¥Users ¥Public ¥Recorded TV

3 **「選択」をクリック**

画面に録画番組が表示されます。

画面が黒いままで映像が表示されない、または表示された映像が停止している

■ チャンネルを変更するか、マウスを使って画面右上の をクリックしてウィンドウ表示に切り換えてください

上記の操作で状況が改善されないときや、同じ状況が再現するときは、画面右上の をクリックして、一度Windows Media Centerを終了し、あらためて起動しなおしてください。

付　録

PART 6 付 録

外付けハードディスクを利用する

外付けハードディスクに録画番組をコピーすることができます。

録画した番組をパソコンのハードディスクから外付けハードディスクにコピーしたり移動することができます。パソコンのハードディスクの空き容量を増やしたいときに便利です。

録画番組を外付けハードディスクにコピー・移動する

録画番組のファイルは、通常のWindowsの操作でコピーしたり、移動することができます。
ここでは、外付けハードディスクに録画番組をコピーする操作を説明します。この操作はマウスでおこなってください。
あらかじめパソコンに外付けハードディスクを接続しておいてください。

> この操作は、パソコンをセットアップしたときに登録したユーザー、または管理者ユーザーでログインしておこなってください。

ポイント

NTFSでフォーマットされている外付けハードディスクを使用することができます。

1 「スタート」-「コンピューター」をクリック

2 左側の一覧で「お気に入り」の「録画一覧」をクリック

録画一覧ライブラリが表示されます。

> 「お気に入り」の「録画一覧」が表示されないときは、パソコンをセットアップしたときに登録したユーザー、または管理者ユーザーでログインしなおしてください。

3 コピーしたい録画番組を外付けハードディスクにコピーする

コピーしたい録画ファイルを選び、ドラッグアンドドロップなどWindowsのコピーの操作で、外付けハードディスクにコピーしてください。

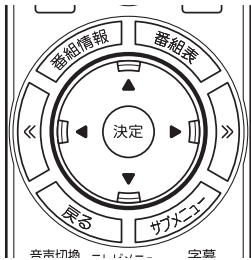
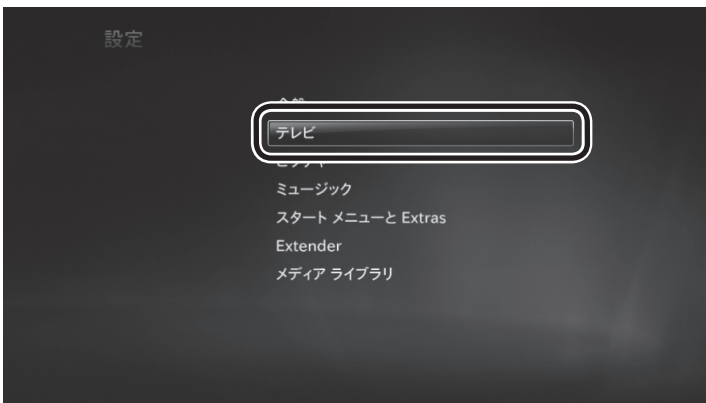
チェック

- 再セットアップしたときは、外付けハードディスクに再セットアップ前の録画番組のデータが残っていても、利用することができなくなります。
  再セットアップするときは、必要に応じて光ディスクに番組を保存(p.47)しておいてください。
- 外付けハードディスクに移動した録画番組のデータを利用するときは、手順2で表示されている「録画一覧ライブラリ」に録画番組をコピーまたは移動してください。
- 外付けハードディスクが故障したときは、故障の状況によって、保存されていた録画番組のデータが利用できなくなることがあります。

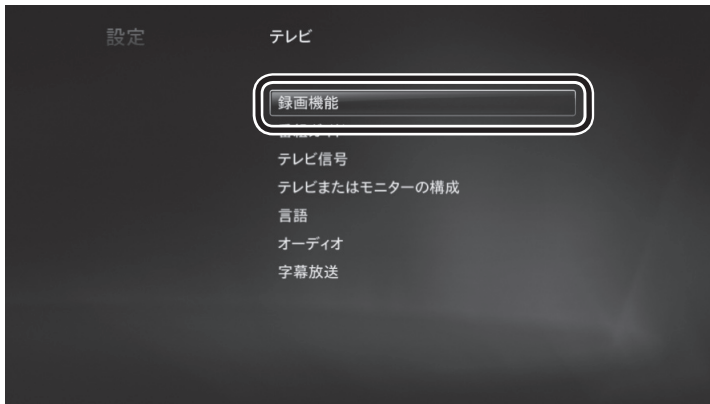
PART 6 付録

録画の設定をする

録画の操作をする前に、あらかじめ、録画番組の保存期間(条件)など「録画の既定値」を設定しておくことができます。

1 「タスク」-「設定」を選んで【決定】を押す

Windows Media Centerの設定の画面が表示されます。

2 「テレビ」を選んで【決定】を押す

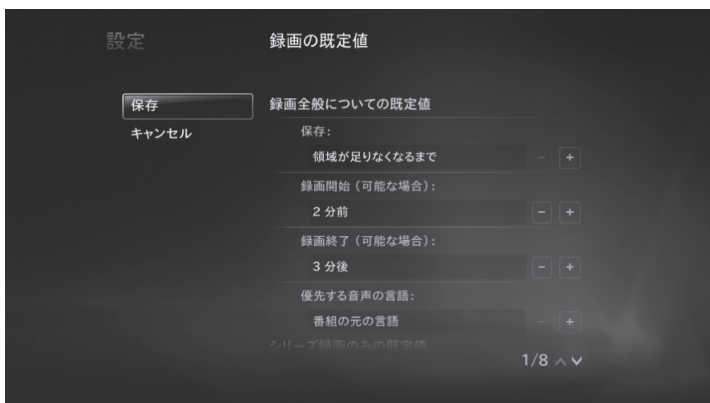
テレビに関する設定項目が表示されます。

3 「録画機能」を選んで【決定】を押す

録画機能に関する設定項目が表示されます。

4 「録画の既定値」を選んで【決定】を押す

録画の既定値を設定する画面が表示されます。

5 項目を選んで設定を変更する

変更したい項目の+または−を選んで【決定】を押し、設定内容を変更してください。

ポイント

ここで、「録画の既定値」以外の録画機能の設定項目を選ぶこともできます。

次の項目を変更できます。

- **保存**
  録画した番組を保存する期間(条件)を選ぶ。
- **録画開始**
  予約録画するとき、予約した開始時刻の何分前から録画を始めるかを選ぶ。
- **録画終了**
  予約録画するとき、予約した終了時刻の何分後まで録画を続けるかを選ぶ。
- **優先する音声の言語**
  録画する音声を選ぶ。
- **番組の種類**
  シリーズ録画するとき、再放送の番組を含めるかどうかを選ぶ。
- **チャンネル**
  複数のチャンネルで放送されている番組をシリーズ録画するとき、他のチャンネルでの放送分も含めるかどうかを選ぶ。
- **放送時間**
  シリーズ録画するとき、特定の時間帯に放送されたときだけ録画するかどうかを選ぶ。
- **保存する回数**
  シリーズ録画するとき、そのシリーズを録画する回数を選ぶ。

6 「保存」を選んで【決定】を押す

■録画の設定を変更したときは

次の点にご注意ください。

●「保存」で「削除まで」を選ぶと、ハードディスクの容量が不足したときに古い録画番組が自動削除されず、新たな録画をすることができなくなります。必要のない録画番組はこまめに削除してください。

●「録画開始」の設定によっては、パソコンの終了と予約録画の開始時刻が重なったとき、番組の最初の部分が録画されなくなることがあります。

その他の設定

miniB-CASカードの情報を確認する

miniB-CASカードに記録された情報は、次の操作で確認することができます。

1 Windows Media Centerの、「タスク」-「設定」を選んで【決定】を押す

Windows Media Centerの設定の画面が表示されます。

2 「テレビ」を選んで【決定】を押す

テレビに関する設定項目が表示されます。

3 「テレビ信号」を選んで【決定】を押す

テレビ信号に関する設定項目が表示されます。

4 「デジタル放送設定」を選んで【決定】を押す

デジタル放送設定に関する設定項目が表示されます。

5 「B-CASカード情報」を選んで【決定】を押す

miniB-CASカードに記録された情報が表示されます。内容を確認したら、「OK」を選んで【決定】を押してください。

テレビの初期設定をやり直す

テレビの初期設定をやり直すことができます。マウスとキーボードを使って操作してください。

1 Windows Media Centerの、「タスク」-「設定」をクリック

Windows Media Centerの設定の画面が表示されます。

2 「全般」をクリック

Windows Media Center全体に関わる設定項目が表示されます。

3 「Windows Media Center セットアップ」をクリック

セットアップに関する設定項目が表示されます。

4 「テレビ信号の設定」をクリック

確認のメッセージが表示されます。

5 「はい」をクリック

「テレビ設定」の「地域」の画面が表示されます。

これ以降の操作については、PART1の「テレビの初期設定をする」の手順2(p.15)以降をご覧ください。

仕様一覧

本体仕様一覧

●LL770/BS6W、LL770/BS6B、LL370/BS6W、LL370/BS6B

型名			LL770/BS6W LL770/BS6B	LL370/BS6W LL370/BS6B
型番			PC-LL770BS6W PC-LL770BS6B	PC-LL370BS6W PC-LL370BS6B
インストールOS・サポートOS			Windows® 7 Home Premium 64ビット 正規版※1※2※3 Windows® 7 Home Premium 32ビット 正規版※1※2※3	
CPU			インテル® Core™ i3-350M プロセッサー	インテル® Celeron® プロセッサー P4500
	動作周波数		2.26GHz	1.86GHz
	コア数／スレッド数		2コア／ 4スレッド(インテル® ハイパースレッディング・テクノロジーに対応)	2コア／ 2スレッド
	キャッシュメモリ		3MB(3次キャッシュ)	2MB(3次キャッシュ)
バスクロック	システムバス		2.5GT/s DMI※11	
	メモリバス		1066MHz	
チップセット			モバイル インテル® HM55 Express チップセット	
メインメモリ※4※5※6※7	標準容量／最大容量		4GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 2GB×2、PC3-8500対応、デュアルチャネル対応)／ 8GB※8※9※10	
	スロット数		2スロット[空き:0]	
表示機能	内蔵ディスプレイ		15.6型ワイド高輝度・高色純度・低反射TFTカラー液晶(スーパーシャインビュー LED液晶)[WXGA(最大1366×768ドット表示)]	
		LCDドット抜けの割合※12	0.00026%以下	
	表示色(解像度)※13	内蔵ディスプレイ※14	最大1677万色※15(1366×768ドット、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドット)	
		別売の外付けディスプレイ接続時(HDMI接続時)※16	最大1677万色(1920×1080ドット、1280×1024ドット、1280×720ドット、1024×768ドット、800×600ドット、720×480ドット) 対応映像方式:1080p/1080i/720p/480p	
		別売の外付けディスプレイ接続時(アナログRGB接続時)※17	最大1677万色(1680×1050ドット、1600×1200ドット、1440×900ドット、1280×1024ドット、1280×800ドット、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドット)	
	グラフィックアクセラレータ		インテル® HD グラフィックス(CPUに内蔵)	
	グラフィックスメモリ※6※18		64ビット版OSの場合:最大1696MB 32ビット版OSの場合:最大1305MB	
ドライブ	ハードディスクドライブ※19		約500GB(Serial ATA、5400回転/分)	
	BD/DVD/CDドライブ(詳細は別表(p.76)をご覧ください)		ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)※20※21	DVDスーパーマルチドライブ[DVD-R/+R 2層書込み]
サウンド機能※23	スピーカ		内蔵ステレオスピーカ(2W+2W)	
	音源／サラウンド機能		インテル® High Definition Audio準拠(最大192kHz/24ビット※22)	
	サウンドチップ		RealTek社製 ALC269搭載	
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応	
	ワイヤレスLAN		高速11n対応ワイヤレスLAN本体内蔵※24※25※26(IEEE802.11b/g/n準拠)	
TV機能(詳細は別表(p.77)をご覧ください)			地上デジタル放送対応※27※28	
入力装置	キーボード		本体一体型(キーピッチ19mm※29、キーストローク3.0mm)、JIS標準配列(105キー、テンキー付き)※31	
	マウス		USBレーザーミニマウス(横スクロール機能付き※32)	
	リモコン		無線リモコン※30	
	ポインティングデバイス		手書き入力※33/ジェスチャー機能付きNXパッド標準装備※32	
	ボタン		ワンタッチスタートボタン(マイ チョイス、インターネット、ソフト)、ECOボタン、ズームボタン搭載	

型名			LL770/BS6W LL770/BS6B	LL370/BS6W LL370/BS6B
外部インターフェイス	USB		USB 3.0×2※34(パソコン本体左側面の端子にパワーオフUSB充電機能付き※35※36)、USB 2.0×3	
	eSATA※37		eSATA×1	
	IEEE1394		4ピン×1	
	ディスプレイ		ミニD-sub15ピン×1、HDMI出力端子×1※16	
	LAN		RJ45×1	
	サウンド関連	マイク入力※38	ステレオミニジャック×1[マイク入力インピーダンス 32kΩ、入力レベル 100mVrms(マイクブースト有効時は5mVrms)、バイアス電圧 2.5V]	
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1[ヘッドフォン出力インピーダンス 16 ~ 100Ω(推奨32Ω)、出力電力 5mW/32Ω]	
		ライン出力	ヘッドフォン出力と共用(ライン出力レベル 1Vrms)	
	TV	地上デジタル放送アンテナ入力端子	F型同軸×1	
		B-CASカードスロット	専用×1	
	カードスロット	メモリーカード	トリプルメモリースロット×1※39[SDメモリーカード(SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード)※40、メモリースティック(メモリースティック PRO、メモリースティック PRO-HG デュオ)※41、xD-ピクチャーカード※42]	
		PCカード	ExpressCard/54(ExpressCard/34対応)×1(ExpressCard™ Standard Release 1.2準拠)	
外形寸法	本体(突起部除く)		378(W)×266(D)×40.5(H)mm	
	バッテリ(突起部除く)		約212.7(W)×57.8(D)×20.2(H)mm	
	ACアダプタ		約133.5(W)X59.5(D)X31.6(H)mm	
	リモコン		50.0(W)×258.0(D)×27.5(H)mm	
質量	本体(標準バッテリパック含む)/マウス/リモコン		約3.2kg /約80g /約140g※43	
	バッテリ		約410g	
	ACアダプタ※44		約400g	
バッテリ駆動時間※45※46	標準バッテリパック装着時		約1.2時間	
	オプションバッテリ装着時		約1.2時間(ニッケル)、約1.9時間(リチウム)	
バッテリ充電時間(電源ON時/ OFF時)※45	標準バッテリパック装着時		約3.0時間/約3.0時間	
	オプションバッテリ装着時		約3.0時間/約3.0時間(ニッケル)、 約2.3時間/約2.3時間(リチウム)	
電源※47※48			ニッケル水素バッテリ(DC7.2V、Typ.4000mAh※49)またはACアダプタ(AC100 ~ 240V±10%、50/60Hz)	
消費電力	標準/最大		約24W /約90W	約25W /約90W
電波障害対策			VCCI ClassB	
温湿度条件			5 ~ 35℃、20 ~ 80%(ただし結露しないこと)	
本体色/マウス色			・型番(PC-LL□□□□□□■)の■がWの場合 スパークリングリッチホワイト/ホワイト ・型番(PC-LL□□□□□□■)の■がBの場合 スパークリングリッチブラック/ブラック	
主なソフトウェア			Microsoft® Office Home and Business 2010※50	
主な添付品			ACアダプタ、マニュアル、USBレーザーミニマウス、miniB-CASカード、リモコン、乾電池(単三アルカリ:2本 リモコン用)、リモコン受信用ユニット(USB接続)	

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

※ 1: 日本語版です。添付のソフトウェアは、インストールされているOSでのみご利用になれます。別売のOSをインストールおよびご利用になることはできません。
※ 2: ネットワークでドメインに参加する機能はありません。
※ 3: 64ビット版と32ビット版の両方を同時にご利用になることはできません。
※ 4: 増設メモリは、PC-AC-ME048C(4GB、PC3-8500)を推奨します。
※ 5: 他メーカ製の増設メモリの装着は、動作を保証するものではありません。他メーカ製品との接続は各メーカにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。
※ 6: グラフィックスメモリは、メインメモリを使用します。
※ 7: 実際にOSが使用可能な領域は一部制限されます。
※ 8: 最大メモリ容量まで搭載可能ですが、32ビット版OSをご利用の場合は、PCIデバイスなどのメモリ領域を確保するために、すべての容量を使用することはできません。なお、装置構成によってご利用可能なメモリ容量は異なります。
※ 9: 最大メモリ容量にする場合、本体に標準実装されているメモリを取り外して、別売の増設メモリ(4GB)を2枚実装する必要があります。
※ 10: 2つのメモリスロットに異なる容量のメモリを搭載するメモリ構成はサポートしておりません。
※ 11: DMIはDirect Media Interfaceの略です。
※ 12: ISO13406-2の基準にしたがって、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。
※ 13: 本体液晶ディスプレイの最大解像度より小さい解像度を選択した場合、拡大表示機能によって画面全体に表示します。ただし、拡大表示によって文字や線などの太さが不均一になることがあります。
※ 14: 液晶ディスプレイの最大解像度より大きい解像度を、液晶ディスプレイに表示することはできません。
※ 15: 1677万色表示は、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現します。
※ 16: 本機で著作権保護されたコンテンツを再生し、HDMI出力端子に接続した機器に表示する場合、接続する機器はHDCP規格に対応している必要があります。HDCP規格に非対応の機器を接続した場合は、コンテンツの再生または表示ができません。HDMIのCEC(Consumer Electronics Control)には対応しておりません。HDMIケーブルは長さ1.5m以下を推奨します。ご使用の環境によっては、リフレッシュレートを60Hz(プログレッシブ)に変更するか、解像度を低くしないと、描画性能が上がらない場合があります。すべてのHDMI規格に対応した外部ディスプレイやTVでの動作確認はしておりません。HDMI規格に対応した外部ディスプレイやTVによっては正しく表示されない場合があります。

※ 17： 本機のもつ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイ対応解像度、リフレッシュレートによっては表示できない場合があります。本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイの同時表示可能です。ただし拡大表示機能を使用しない状態では、本体液晶ディスプレイ全体には表示されない場合があります。また解像度によっては、外付けディスプレイ全体には表示されない場合があります。
※ 18： パソコンの動作状況により、使用可能なメモリ容量、グラフィックスメモリ容量が変化します。また本機のハードウェア構成、ソフトウェア構成、BIOSおよびディスプレイドライバの更新によりグラフィックスメモリの最大値が変わる場合があります。搭載するメインメモリの容量によって利用可能なグラフィックスメモリの最大値は異なります。利用可能なグラフィックスメモリの最大値とは、OS上で一時的に使用する共有メモリやシステムメモリを含んだ最大の容量を意味します。
※ 19： 1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。
※ 20： ブルーレイディスクの再生はソフトウェアを用いているため、ディスクによっては操作および機能に制限があったり、CPU負荷などのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり映像がコマ落ちする場合があります。
※ 21： ブルーレイディスクの再生時は、必ずACアダプタをご使用ください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。
※ 22： 量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。
※ 23： キャプチャソフトなどを使用して、本機で再生中の音声を録音することはできません。
※ 24： IEEE802.11nはWPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)対応、IEEE802.11b/gはWEP(64/128bit)、WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES)対応です。
※ 25： 理論上の最大通信速度は送受信ともに300Mbpsですが、実際のデータ転送速度を示すものではありません。接続先の11nワイヤレスLAN機器の仕様により、接続時の速度が異なります。
※ 26： IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性がありません。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※ 27： 出荷時の解像度／色数以外ではTV機能を利用できません。
※ 28： 地上デジタル放送を視聴するには、常時インターネットに接続する必要があります。
※ 29： キーボードのキーの横方向の間隔。キーの中心から隣のキーの中心までの長さ(一部キーピッチが短くなっている部分があります)。
※ 30： 使用可能な距離は約3mです(ただし、ご使用の環境条件や方法により異なります)。
※ 31： 光沢度を出すために光沢塗料を塗布しております。本塗料は、紫外線(直射日光など)などの影響や長期間の使用に伴い変色する恐れがありますが、キーボードの機能としては問題ありません。
※ 32： 使用するソフトウェアによって動作が異なったり、使用できないことがあります。
※ 33： 手書きには個人差がありますので、本機能は完全な変換を保証するものではありません。
※ 34： 接続したUSB 3.0対応機器の転送速度は最大2.5Gbps(理論値)になります。また、接続したUSB 2.0対応機器の転送速度は最大480Mbps(理論値)となります。
※ 35： ACアダプタまたは電源コードを接続している場合のみ使えます。
※ 36： 動作確認済み機器に関しましては http://121ware.com/navigate/products/pc/connect/usb/list.html をご覧ください。パワーオフUSB充電機能は、ご購入時の状態ではオフに設定されています。使用する場合は、「パワーオフUSB充電の設定」でオンにしてください。
※ 37： 接続したeSATA対応機器から起動することはできません。
※ 38： パソコン用マイクとして市販されているコンデンサマイクやヘッドセットを推奨します。
※ 39： 各々同時に使用することはできません。「マルチメディアカード(MMC)」はご利用できません。すべてのメモリーカード、メモリーカード対応機器との動作を保証するものではありません。
※ 40： 「SDメモリーカード」「SDHCメモリーカード」は著作権保護機能(CPRM)に対応していますが、「SDXCメモリーカード」は著作権保護機能(CPRM)に対応していません。「SDXCメモリーカード」の著作権保護機能(CPRM)対応モジュールは、2010年8月下旬に弊社ホームページ(http://121ware.com/)にて提供予定です。「SDIOカード」には対応しておりません。「miniSDカード」、「microSDカード」をご使用の場合には、SDカード変換アダプタをご利用ください。microSDカード→miniSDカード変換アダプタ→SDカード変換アダプタの2サイズ変換には対応しておりません。詳しくは「miniSDカード」、「microSDカード」の取扱説明書をご覧ください。「SDHCメモリーカード」、「SDXCメモリーカード」の高速転送規格「UHS-I」には対応しておりません。「SDXCメモリーカード」の動作確認済み機器に関しましては http://121ware.com/catalog/taioukiki/ をご覧ください。
※ 41： 「メモリースティック デュオ」をご使用の場合には、「メモリースティック デュオ」アダプターをご利用ください。「メモリースティック マイクロ」(M2)をご使用の場合には、「メモリースティック マイクロ」(M2)スタンダードサイズアダプターをご利用ください。「メモリースティック マイクロ」(M2)→「メモリースティック マイクロ」(M2)デュオサイズアダプター→「メモリースティック デュオ」アダプターの2サイズ変換には対応しておりません。詳しくは「メモリースティック デュオ」、「メモリースティック マイクロ」(M2)の取扱説明書をご覧ください。本機は4ビットパラレルデータ転送に対応しております。ただし、お使いのメモリーカードによっては読出し／書込みにかかる時間は異なります。「メモリースティック PRO-HG デュオ」の8ビットパラレルデータ転送には対応しておりません。著作権保護機能(マジックゲート)には対応しておりません。
※ 42： xD-ピクチャーカードの著作権保護機能には対応しておりません。
※ 43： 乾電池の質量は含まれておりません。
※ 44： 電源コードの質量を除く。
※ 45： バッテリ駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって記載時間と異なる場合があります。
※ 46： JEITAバッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)に基づいて測定したバッテリ駆動時間です。詳しい測定条件は、インターネット(http://121ware.com/lavie/ → 各シリーズページ → 「仕様」)をご覧ください。
※ 47： パソコン本体のバッテリなど各種電池は消耗品です。
※ 48： 標準添付されている電源コードはAC100V用(日本仕様)です。
※ 49： 公称容量(実使用上でのバッテリパックの容量)を示します。
※ 50： 本製品はマニュアルを添付しております。

BD/DVD/CDドライブ仕様一覧

	ドライブ※1	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW)(バッファアンダーランエラー防止機能付き)[DVD-R/+R 2層書込み]
読出し	CD-ROM※2	最大24倍速	最大24倍速
	CD-R	最大24倍速	最大24倍速
	CD-RW	最大24倍速	最大24倍速
	DVD-ROM	最大8倍速	最大8倍速
	DVD-R	最大8倍速	最大8倍速
	DVD+R	最大8倍速	最大8倍速
	DVD-RW	最大8倍速	最大8倍速
	DVD+RW	最大8倍速	最大8倍速
	DVD-RAM※8	最大5倍速	最大5倍速
	DVD-R (2層)※5	最大6倍速	最大6倍速
	DVD+R (2層)	最大6倍速	最大6倍速
	BD-ROM	最大6倍速	—
	BD-R (1層)※10	最大6倍速	—
	BD-R (2層)※10	最大4倍速	—
	BD-RE (1層)	最大4倍速	—
	BD-RE (2層)	最大4倍速	—
書込み/書換え	CD-R	最大24倍速	最大24倍速
	CD-RW※3	最大10倍速	最大10倍速
	DVD-R※4	最大8倍速	最大8倍速
	DVD+R	最大8倍速	最大8倍速
	DVD-RW※7	最大6倍速	最大6倍速
	DVD+RW	最大8倍速	最大8倍速
	DVD-RAM※8	最大5倍速※9	最大5倍速※9
	DVD-R (2層)※6	最大4倍速	最大4倍速
	DVD+R (2層)	最大4倍速	最大4倍速
	BD-R (1層)※10	最大6倍速	—
	BD-R (2層)※10	最大4倍速	—
	BD-RE (1層)※11	最大2倍速	—
	BD-RE (2層)※11	最大2倍速	—

※ 1： 使用するディスクによっては、一部の書込み／読出し速度に対応していない場合があります。
※ 2： Super Audio CDは、ハイブリッドのCD Layerのみ読出し可能です。
※ 3： Ultra Speed CD-RWディスクはご使用になれません。
※ 4： DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。
※ 5： 追記モードで記録されたDVD-R(2層)ディスクの読出しはサポートしておりません。
※ 6： DVD-R(2層)書込みは、DVD-R for DL Ver.3.0に準拠したディスクの書込みに対応しています。ただし、追記は未対応です。
※ 7： DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書換えに対応しています。
※ 8： DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 (片面4.7GB)に準拠したディスクに対応しています。また、カートリッジ式のディスクは使用できませんので、カートリッジなし、あるいはディスク取り出し可能なカートリッジ式でディスクを取り出してご利用ください。DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB)の読出し/書換えはサポートしておりません。
※ 9： DVD-RAM12倍速ディスクの書込みはサポートしておりません。
※ 10： BD-R Ver.1.1/1.2/1.3(LTH Type含む)に準拠したディスクに対応しています。
※ 11： BD-RE Ver.2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。カートリッジタイプのブルーレイディスクには対応しておりません。

TV機能仕様一覧

●TV受信機能

品名			本体内蔵
テレビ受信機能	チューナー		地上デジタルチューナー
		チューナー数	1個
	対応する放送の種類		地上デジタル放送※1
	CATVパススルー対応		対応帯域:全帯域(VHF・MID・SHB・UHF)
	字幕放送		対応
	データ放送		対応
	双方向サービス		対応※2
	EPG(電子番組表)		対応

●メディアへの保存時間

メディア	保存形式		字幕表示対応	保存時間(めやす)	DVDスーパーマルチドライブモデル	ブルーレイディスクドライブモデル
BD-R(1層/2層) BD-RE(1層/2層)※5	BD-AV形式	地上デジタルハイビジョンテレビ放送	×	約3時間/約6時間	−	●
		地上デジタル標準テレビ放送	×	約6時間30分/約13時間	−	●
DVD-R(1層/2層)※6	DVD-VR形式※4	XP(高画質)	×	約1時間/約2時間	●	●
		SP(標準画質)	×	約2時間/約3時間30分	●	●
		LP(長時間)	×	約4時間/約7時間	●	●
DVD-RW(1層)※6	DVD-VR形式※4	XP(高画質)	×	約1時間	●	●
		SP(標準画質)	×	約2時間	●	●
		LP(長時間)	×	約4時間	●	●
DVD-RAM(片面4.7GB)※3※6	DVD-VR形式※4	XP(高画質)	×	約1時間	●	●
		SP(標準画質)	×	約2時間	●	●
		LP(長時間)	×	約4時間	●	●

放送中の番組を視聴しているとき、および、ハードディスクに録画した番組を再生しているとき以外は、データ放送を利用することはできません。
録画(保存)時間は目安であり、録画(保存)する先(BD/DVDメディア)の空き容量や、録画(保存)する番組によって変動します。

※　1：ケーブルテレビ会社経由で地上デジタル放送を受信する場合、再配信されている地上デジタル放送信号が同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式の場合は地上デジタル放送を視聴可能です。その他の方式(トランスモジュレーション方式など)では視聴できません。再配信されている地上デジタル放送の方式に関しては、ご利用のケーブルテレビ会社にご確認ください。
※　2：LAN回線を使用して双方向サービスをご利用になれます。
※　3：1GBを10億(1000^3)バイト、1TBを1兆(1000^4)バイトで計算した場合の数値です。
※　4：DVD媒体への保存時は、5.1chサラウンドは、ステレオ2chに変換されます。
※　5：BD-RE Ver.1.0規格のディスク(カートリッジ付きディスク)の使用はできません。次世代著作権保護技術AACSに対応しています。
※　6：CPRM方式に対応していないDVD-R/DVD-RW/DVD-RAMにはコピーまたはムーブできません。

LAN仕様一覧

項　目	規　格
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T使用時：1,000Mbps 100BASE-TX使用時：100Mbps 10BASE-T使用時：10Mbps
伝送路	1000BASE-T使用時：UTPカテゴリ5e以上 100BASE-TX使用時：UTPカテゴリ5 10BASE-T使用時：UTPカテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式
ステーション台数	最大1,024台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長※	1000BASE-T：最大約200m/ステーション間 100BASE-TX：最大約200m/ステーション間 10BASE-T：最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント

※：リピータの台数など、条件によって異なります。

ワイヤレスLAN仕様一覧

■ 高速11n対応ワイヤレスLAN(bgn)モデル

●IEEE802.11b/g

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b、ARIB STD-T66 ※3
通信モード	IEEE802.11gモード:54/48/36/24/18/12/9/6(Mbpsモード)※1 IEEE802.11bモード:11/5.5/2/1(Mbpsモード)※1
伝送方式	OFDM方式(54/48/36/24/18/12/9/6Mbpsモード時) DS-SS方式(11/5.5/2/1Mbpsモード時)
無線チャンネル	1 ～ 11ch(アクティブスキャン) 12、13ch(パッシブスキャン)※4
周波数帯域	2.4GHz帯域(2.4 ～ 2.4835GHz)
セキュリティ	WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES) WEP(鍵長64bit/128bit※2)

※ 1:各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。

※ 2:ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。

※ 3:ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)の規定内容は、「ソフト&サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)使用上の注意」をご覧ください。

※ 4:パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。

●IEEE802.11n

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11n、ARIB STD-T66 ※2
通信モード	20MHz時:130/117/104/78/52/39/26/13(Mbpsモード) 40MHz時:300/270/240/180/120/90/60/30(Mbpsモード)※1
伝送方式	OFDM方式、MIMO方式
無線チャンネル	1 ～ 11ch(アクティブスキャン) 12、13ch(パッシブスキャン)※3
周波数帯域	2.4GHz帯域(2.4 ～ 2.4835GHz)
セキュリティ	WPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)

※ 1:各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。

※ 2:ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)の規定内容は、「ソフト&サポートナビゲーター」-「パソコンの各機能」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)使用上の注意」をご覧ください。

※ 3:パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。

リモコン仕様一覧

外形寸法	リモコン受信用ユニット	16(W)×55(D)×8(H)mm
	リモコン※1	50(W)×258(D)×27.5(H)mm
質量	リモコン受信用ユニット	約6 g
	リモコン	約140g(電池含まず)
電池		単3形乾電池2本

※　1：使用可能な距離は約3mです。(ただし、ご使用の環境条件や方法により異なります)。

索引 INDEX

英数字

あ行

か行

さ行

た行

は行

や行

ら行

LaVie

初版 2010年6月
NEC
853-811064-012-A
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。